



愛知陸協広報

第37号

平成27年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2016に向けて

副会長 外山 幸男

今季のトラック&フィールドはジュニアの中学生・高校生の活躍もあり、来年度以降の飛躍が期待されるうちに終わることができました。選手の健闘を讃えるとともに指導者の方に敬意を表します。また、大会運営を支えてくださった役員・審判員、補助員の方々に深く感謝します。

瑞穂で6年目の開催となった日本ジュニア・ユース選手権大会は、日本陸上界の将来を担う精鋭1740名が、ジュニア・ユースの頂点を競い、ジュニア8、ユース18の大会新記録・タイ記録が誕生しました。関係の皆様方のご尽力に深く感謝申し上げます。

トラックシーズンも終盤となり、愛知県市町村対抗駅伝、読売犬山ハーフマラソン等のロードのシーズンに入ります。来年3月13日に開催の「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2016」は、第100回日本選手権大会を兼ねるとともにオリンピック女子マラソン代表選考レースにあたっています。エリートの部は参加制限が15分縮まり3時間以内とより厳しくなり、選考レースに相応しい大会となります。オリンピック代表が選出されることが大いに期待されます。ウィメンズマラソンの定員が2万人と拡大し、ハーフマラソン、クォーター、ホイールチェア、チャレンジランでトータル3万8千5百人のエントリーになりました。海外選手のエントリー枠も3千名となり、IAAF ゴールドラベルのマラソンに相応しく国際色が濃くなりました。ウィメンズマラソンは、女性マラソン出走者数のギネス世界記録の更新は間違いないところです。このように多くの意味あいを担う本大会は、愛知陸協が総力をあげて主管しなければなりません。

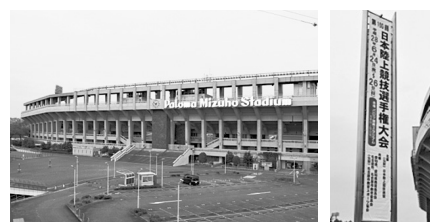
コースの確保には、愛知県警察本部を始め各警察署のご支援と関係交通機関のご協力、市民・沿道住民の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。当日のコース整理には、競技役員とコース整理ボランティア、ガードマンが、安全なレースのため警察官の指示のもとに活動します。救護・救急の体制は、1000名を越える医療スタッフに救護ボランティアとしてご協力いただき、安全な大会の運営を行なっております。

愛知陸協は、実行委員会を始め、90回に及ぶ各委員会を開催して準備を進め、競技運営を担当します。これまでの4回の大会は、競技役員、ボランティアの協力により、成功を取ることができました。今回も世界から注目されるイベントの競技運営を担当し、出場のランナーとともに喜びを共有したいと考えます。早朝から長時間にわたる任務になり、多くの競技役員・ボランティアが必要となります。競技役員としては700名が必要です。毎回出席の方は引き続きお願いし、今回から出席の方は今後ともよろしく申し上げます。マラソンフェスティバルの成功のため、また、今後の愛知陸協の発展に、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第100回日本陸上競技選手権大会 6月24日～26日開催に決定

日本選手権の愛知開催は2回目、前回から実に65年ぶりです。愛知での全国規模の大会は昭和58年の全国高校総体(インターハイ)、平成6年の国民体育大会以来です。記念すべき第100回を成功させるため、多くの会議や新潟への視察、日本ジュニア・ユース大会をリハーサル大会として実施するなど、愛知陸協が総力を上げて取り組んでいます。

名古屋市瑞穂公園陸上競技場(パロマ瑞穂スタジアム)で上記日程に開催することが決定しました。来場をお待ちしています。



瑞穂陸上競技場

専門委員会報告

総務委員会

2015年秋のメインでありました日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会も無事終了し、ロードレースの季節となりました。これらの大会準備に気持ちを切り替えているところです。「庄内緑地」で行なっていました駅伝カーニバルは、今年度より場所を「愛・地球博記念公園」に移して行なわれます。

さて、2016年度の登録番号についてお知らせします。2015年度までは、4桁の番号を振っていましたが、次年度からは各カテゴリー毎に、数字の前にアルファベットを冠し5桁になります。概要は次の通りです。

(登録番号)

種別 地域	一般 白地黒文字 (男女通し)	高校 男：白地黒文字 女：白地赤文字	中学 男：黄地黒文字 女：黄地赤文字	小学生友の会 男：水色地黒文字 女：水色地赤文字
尾張	団体A 1~8999 個人A 9001~9999	F 1~4999 F 5001~9999	N 1~4999 N 5001~9999	Q 1~4999 Q 5001~9999
名古屋	団体B 1~8999 個人B 9001~9999		P 1~4999 P 5001~9999	R 1~4999 R 5001~9999
名古屋南		H 1~4999 H 5001~9999		
名古屋北		J 1~4999 J 5001~9999		
愛日			S 1~4999 S 5001~9999	
知多		K 1~4999 K 5001~9999	T 1~4999 T 5001~9999	
西三河	団体C 1~8999 個人C 9001~9999	L 1~4999 L 5001~9999	V 1~4999 V 5001~9999	Y 1~4999 Y 5001~9999
東三河	団体D 1~8999 個人D 9001~9999	M 1~4999 M 5001~9999	W 1~4999 W 5001~9999	Z 1~4999 Z 5001~9999

(ナンバーカード)

例	一般尾張団体	高校名古屋南女子	西三河小学生男子
	A 1	H 5001	Y 4999

(水野 隆夫)

競技委員会

2015年10月16日～18日に開催された、日本ジュニア・ユース選手権大会へのご協力ありがとうございました。今年度で6回目となりましたが好天にも恵まれ、新記録等も例年以上に多く、とても充実した大会になったと思います。

現在、競技委員会では様々なロードレースの準備を行ないながら、来年度の競技会日程の調整準備に入りました。日本選手権を中心に、多くの全国大会や東海大会の日程を基本とし、県大会や地区大会を編成していきます。特に瑞穂公園陸上競技場では、Jリーグとの関係もあり、制約された条件の中で大会の重なりをできる限り無くしていきたいと思っております。競技者の利便性など多くの条件の中で競技日程を決めていくのは難しいのですが、多くの方々の協力を得て調整を行なっています。競技日程の変更や会場の変更をお願いしなければならない大会もあると思われまます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひします。

競技会におきましても、多くの問題が浮き彫りになってきました。競技場の制約、特に参加者の増加に伴い競技運営が困難になってきました。参加制限や標準記録等の見直しをし、出場競技者がよい記録を出せることと、競技会のスムーズな運営や競技役員に過重な負担をかけないことなどを考慮していかなければなりません。よい案、ご意見等がありましたらお聞かせください。

来年度の日本選手権の開催は、一流のアスリートの競技を目の当たりにすることで、愛知の子どもたちを含め競技者がモチベーションを高め、競技力の向上にもつながることと思われまます。競技運営や準備などへのご協力よろしくお願ひします。

(榊原 茂)

施設・用器具委員会

日本選手権開催準備打合せ会議報告③

7月6日 名古屋市教育スポーツ協会柴田理事長に財政協力を依頼しました(青木)。

8月3日 瑞穂施設管理(柴本)愛知陸協(青木)セレスポ(浅岡)ニシスポーツ(山下)長谷川体育施設(鈴木、篠原)でラグビー場の投てき練習会場を、現場で検討しました。

8月26日 備品・器具関係の名古屋市予算の不足分の調整を、教育スポーツ協会(福井、渡邊)にお願ひし、検討しました(青木)。

9月16日 名古屋市(根木、北川)瑞穂施設管理(住田)愛知陸協(稲垣、青木)セレスポ(浅岡)で予算案の検討と会場の打合せをしました。

9月28日 名古屋市(野嶋、根木、北川、松田)教育スポーツ協会(福井、渡邊)瑞穂施設管理(伊藤、住田、岡、柴本)愛知陸協(稲垣、青木)で備品・大会経費・大会直前準備スケジュールの調整をしました。

9月30日 日本陸連理事会で開催日が6/24～26に正式に決定しました。

10月7日(13:00～14:45)瑞穂で、第100回日本陸上競技選手権第3回全体会議が開催されました。陸連(大島部長、井上課長、山田)愛知陸協(外山、岡田、稲垣、青木)行政：愛知県(壺池課長、久保田)名古屋市(野嶋課長、根木、北川、松田)教育スポーツ協会(福井、渡邊)瑞穂施設管理(伊藤、住田、岡、柴本)セレスポ(管)のメンバーで、予算案、準備スケジュール、会場利用計画、仮設物、サブイベント等が検討されました。会議後、会場諸室の第5次案について会場視察が行なわれました。今後、表彰・ドーピング検査会場等の課題については、日本陸連内での調整になりました。

10月28日 最終全体予算の分担案提示が、愛知県(壺池課長、久保田)名古屋市(野嶋課長、根木)から愛知陸協(稲垣、青木)へあり、愛知陸協としては予想を超えた大変厳しいものでした。今後も大会開催のため、支出の削減を含め実務者の話し合いが継続されます。

「第100回日本選手権イベント」実施

(写真提供：ミズノ)

名古屋市教育委員会、名古屋教育スポーツ協会主催、愛知陸上競技協会共催、名古屋市陸上競技協会主管で、11月23日(月祝)に瑞穂公園陸上競技場で実施しました。一般の人や小中高生に、一流選手の話や実技をみて、記

クラブ紹介③① 安城快足 AC

[アスリートから「技術」を学び、人生の先輩やプロの職人から「人間力」を学ぼう。お互いが学び合えるクラブを創ろう。]と9年前に発足しました。小学生から後期高齢者、「走り始めたばかりのビギナー」から「全国大会に出場する者」まで幅広い有志らが交流し、相乗効果を通じ長所を相互に吸収して、各自の夢・目標実現へ歩みを進めています。

活動は年間を通じて①毎週水曜日＝安城市陸上競技場でのナイター練習会、②土曜日 AM＝県内各地へ出かけての活動を行なっています。今年度は安城市陸上競技場が6月末～改修工事のため、3月まで多目的広場等の別の場所で活動しています。ナイターでは、入念な準備体操やドリル、ミーティングや本気のジャンケンも採用し、心身ともテンションを高めてメイン練習へスムーズに移行し、プラスαエネルギーを引き出せるよう工夫しています。

「皆さんの熱い本気度に感動した☆」「みんなと競り合えることが楽しい♪」モチベーションアップの空気を全員で演出して、練習をやり遂げた後は皆ベストスマイル(写真)。

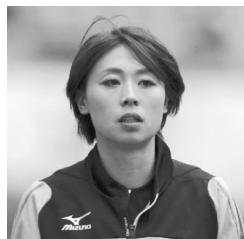


水曜ナイター練習を終えて 皆ベストスマイル♪

2015年度、当クラブの陸協登録会員は35人(男子24、女子11)ですが、練習会については所属クラブを問わずどなたでも歓迎しています。(吉田 裕之)

連絡先は、快足 AC メールアドレス：kaisoku.ac@wine.ocn.ne.jp / TEL：0566-71-1881 / FAX：0566-71-1882 または吉田祥子 090-3421-6110、吉田裕之 090-2572-8500 まで

録会に参加し体験することで、陸上競技または日本選手権への関心を高める機会としました。第一部では、オリンピック出場の市川華菜選手とディーン元気選手とのトークショー。第二部では「記録に挑戦しよう」記録会(50m・走幅跳・ヴォータックス投の計測)での二人によるデモンストレーションおよびナビゲーターで、会場が大いに盛り上がりました。同時開催の「器具体験コーナー」では、一般の方が、日頃触れることのできない用器具に実際に触れて、参加者から貴重な経験をしたと好評でした。詳しい報告は、次号でさせていただきます。



市川華菜選手



ディーン元気選手

(青木 実)

審判委員会

10月25日(日)に愛知県教育会館にて2015年度後期B級審判資格取得講習会を行ないました。36名と多くの方に受講していただき、全員無事取得されました。平成28年4月1日付けで新たに公認審判員の仲間入りをしますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

また、10月16日～18日の3日間にわたり開催された、第31回日本ジュニア・第9回日本ユース陸上競技選手権大会には多くの審判員の方々にご協力いただき、無事に終えることができました。ありがとうございます。来年度の日本選手権大会のリハーサルを兼ねた大会でしたが、競技種目、参加人員などの違いもあり、部署によっては主任が計画した予定がうまく生かされなかったことなどもありました。本大会が成功するためにも、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。また日本選手権大会はより多くの部署があるため、協力していただける審判員の方にはジュニ

ア・ユース大会等とは違った部署へお願いすることもあります。ご承知おきください。

トラックシーズンが終わり、ロード競技会や駅伝競走のシーズンが始まりました。ロードを使った規模の大きい競技会は、多くの審判の方のお力が欠かせません。特に読売犬山ハーフマラソンや名古屋ウィメンズマラソンなど、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、毎回お願いをしていますが、審判調査はがきの提出と競技会での審判服装を整えることの二つをお願いします。(小森 好治)

選手強化委員会

和歌山国体報告

10月2日(金)～6日(火)の5日間、和歌山県の紀三井寺公園陸上競技場において、第70回国民体育大会が開催されました。本県からも選手29名(男子15名・女子14名)、スタッフ11名、トレーナー2名の42名が参加しました。3回の合宿・練習会を経て、合言葉『最後まで諦めずに!』を胸に、選手それぞれの思いをぶつけ頑張りました。今回のメンバーの中には、世界陸上日本代表の市川華菜・山本聖途・長田拓也の3選手も入り、チーム編成時からアスリートとしての心構えなどを高校生・中学生選手たちは学び、チーム愛知として1つにまとまって当日を迎えることができました。

大会初日の10月2日(金)は、少年男子共通円盤投の岩田知大(一宮北高)・少年女子B走幅跳の澤井萌奈(中京大中京高)の決勝の同時進行から始まり、大会開始早々から手に汗握るスタートでした。澤井選手は強風が選手たちを苦しめる中2回連続のファールから始まり、追い込まれた状況での3回目でベスト8を決める跳躍を見せてくれました。その後本人の目標であった優勝を目指し、攻めの跳躍の連続でした。見事6回目の跳躍で5m93を跳び、優勝を勝ち取ってくれました。同時進行で行なわれていた円盤投の岩田選手も、最後まで攻めの姿勢を忘れずに見事

45m78を投げ8位入賞をしました。チーム愛知の合言葉を、初日の最初の決勝種目からしっかり見せてくれたスタートとなりました。2人の頑張りで、夕方の少年女子A100mの柴山沙也香(至学館高)に勢いを与えてくれました。昨年この大会に急遽代走で参加し優勝をしている柴山選手は、2連覇をかけてスタートラインに立ちました。今季思うようなレースができず、歯痒い思いをしてきた彼女でしたが、和歌山へ乗り込む直前のテストレースで11秒75の県高校新記録をたたき出し、この決勝にかける思いが伝わってきました。2連覇の夢は果たせませんでした。11秒83で見事2年連続表彰台の3位を勝ち取りました。



集合した和歌山国体参加選手等

大会2日目の3日(土)は、優勝1種目・入賞5種目という入賞ラッシュの1日でした。まずは前日の予選をギリギリ通過し、少々不安を残してインターハイチャンピオンの少年女子共通800mの向井智香(至学館高)の登場でした。我々スタッフの不安を良い意味で裏切る冷静なレース展開を見せ、最後の最後で2分07秒33の見事な逆転優勝でした。そのあと、こちらも前日の予選・準決勝と順当にコマを進め、少年女子A400mHに岩田帆乃夏(中京大中京高)の登場。岩田選手も昨年この種目で3位入賞をしており、優勝を目標に乗り込んできた1人です。前半から積極的にレースを進めるも、残念ながら1分01秒09で8位でのゴールとなりましたが、見事2年連続の入賞でした。その後休む暇もなく2人の活躍の裏で確実に決勝進出を決めてくれた、少年女子B100mの長谷川愛樹(中京大中京高)・成年男女100mの長田拓也(法政大)・市川華菜(ミズノ)3人の愛知が誇るスプリンターと、1日目円盤投で入賞し勢いに乗る少年男子Aのハンマー投の岩田知大(一宮北高)の登場。まずは女子最年少の長谷川選手が、スタートから冷静にレースを進め、準決勝の自己新記録の勢いそのまま12秒26で5位入賞。夏頃から調子を落としていた長谷川選手でしたが、今後の活躍を期待させる走りでした。続く女子キャプテン市川選手は度重なる故障との戦いで、満身創痍のレースとなりました。今季100mで思うような走りができていなかった市川選手でしたが、キャプテンとしての意地と日本を代表するスプリンターのレース運びの上手さで決勝進出。11秒88の7位入賞を果たし、市川健在をアピールしてくれました。2日目最後のトラック決勝に登場した長田選手。今シーズン絶好調の走りをそのまま表現し、優勝争いを最後までしてくれ10秒33の2位入賞でした。フィールド最後の決勝に登場の岩田選手は、直前に出した57mの自己新記録を大きく更新し、59m11で天晴れの4位入賞でした。2日目終了時点でのチーム愛知は、天皇杯4位・皇后杯3位と好スタートでした。

大会3日目の4日(日)は、チーム愛知としてはエントリー種目がほとんどない日だったため、少々休憩の1日になりました。この日は成年男子棒高跳の山本聖途(トヨタ自動車)の登場が、愛知だけでなく陸上ファンを痺れさせました。トラック種目にはない駆け引きをしながら、最後は優勝とオリンピック参加標準記録突破をかけての跳躍を見せてくれました。残念ながら5m75への挑戦は3回失敗に終わり、5m60の2位となりました。国体での優勝のない山本選手は、開始から優勝だけを目標にしていただけに本人の悔しさは人一倍だったことでしょうか、チームには貴重な7点を獲得してくれました。この日もう一人成年選手の活躍がありました。成年女子1500mの福田有以(豊田自動織機)がサブ種目として出場したこの種目で、見事4分25秒15で7位入賞をしてくれました。実力者の揃ったこの決勝で最後まで我慢のレース展開でしたが、福田選手も『最後まで諦めない!』を実践してくれた素晴らしい入賞でした。3日目終了時点で天皇杯・皇后杯ともに7位と、入賞圏内キープでの終了でした。

大会4日目の5日(月)この日最初の決勝種目は、少年男子共通5000mWの持田顕人(千種高)。インターハイで21分06秒15のタイムで6位入賞の実績を持っての登場で、20分台の上位入賞を目標にしての登場でした。スタートからスピードのある展開となったこのレースで、しっかり最後まで先頭グループを追いかけ、目標タイム突破の20分35秒08の自己新記録・県高校新記録で見事8位入賞を果たしました。これだけのタイムで歩き8位という結果は、我々も予想していなかった高いレベルであり、その中できちんと入賞した持田選手もまた『最後まで諦めない!』を実践してくれました。トラック種目もう1つの決勝種目に、少年女子A400mに松本扶弥(岡崎城西高)が登場。予選・準決勝と、粘りのレースながらきちんと着での決勝進出を決めており、決勝で再度松本選手の粘りを期待しました。後方からスタートした松本選手は、最終の第4コーナーを抜けた時点で7位・8位争い。彼女の粘りもここまでかと思ったその瞬間から、ターボエンジンに火が着いたかのような必死に先頭を追いかける彼女の姿。最後の最後ゴールラインまで粘り続けた松本選手は、見事55秒79のインターハイ5位を上回る4位でフィニッシュ。彼女もまた『最後まで諦めない!』を、きちんと走りで見せてくれました。フィールドでは成年女子走高跳に中西美早(岡崎城西高)が、高校生ながら成年の先輩たちに勝負を挑みました。日本選手権で7位入賞をしている彼女にとっては2度目の挑戦。見事1m72で8位入賞を果たしてくれました。所属チームのコーチである宇野先生と見守る中、中西選手は残念ながら次の高さ1m76はクリアできず、祈る気持ちで最終跳躍者まで見ての握手でした。高校生には見えない堂々とした競技運びに、脱帽です。この時バックストレートの幅跳びのピットには、この大会チーム愛知には唯一の中学生少年男子B走幅跳の藏田源貴(愛教大附属名古屋中)が登場していました。1本目から思い切りのいいジャンプを見せ、こちらも先輩たちに引けを取らない堂々とした競技をしていました。6m97と惜しくも7mには届きませんでした。見事に4位入賞を果たしてくれました。4日目終了時点で、天皇杯10位・皇后杯6位と、総合入賞圏外となつての終了でした。この日の夜のミーティングでは、最終日の少年女子A3000m・男女リレーの結果次第では、皇后杯・天皇杯ともに入賞の可能性

があり、チーム一丸で戦う気持ちを再確認して終わりました。

大会最終日の6日(火)は、800mで優勝をしている向井選手のサブ種目の3000mと、男女リレーの3種目。最終日5種目しかない中、3種目を残しているチームは僅か数チーム。さらに男女でリレーの決勝に残っているのは北海道と愛知のみ。チーム力と存在をしっかりとアピールした最終日となりました。残念ながら女子リレーの長谷川愛樹・市川華葉・柴山沙也香・中野真琴(安城学園高)が6位入賞しただけに終わってしまいました。5日間を通して最後の最後まで『最後まで諦めない!』を実践してくれた選手たち。強化委員長就任1年目の国体は、非常に申し訳ない結果に終わりましたが、今回のこの粘りのチーム愛知は、選手はもちろんスタッフにも来年への力を与えてくれました。12月から岩手国体へ向けて、再出発をしていきます。さらなるご理解とご協力・ご支援をお願いいたします。

大会期間中激励に駆けつけてくださった愛知陸協の皆様、支援コーチの先生方、毎日深夜まで選手のケアをしてくださったトレーナーの皆さん、各選手の所属チームの監督・コーチの皆さんに厚くお礼を申し上げます。

(明星 光信)

記録・情報処理委員会

トラックシーズンを終えて

今年度は、委員会組織の改編に加えて、瑞穂陸上競技場の運営システムの変更という大きな変化の年になりましたが、皆様方のご協力のおかげで大きな支障もなく運営することができたことを感謝申し上げます。また、当初の申し込みシステムの不具合や連絡の不備などで関係の方々にご迷惑をおかけしましたことについてはお詫び申し上げます。新システムについては、複数大会の同時開催への未対応やプログラムやリザルトの版下作成に従来の数倍の時間がかかるなど、機能面で改善の必要な面があります。次年度のトラックシーズンに向け、不具合の解消より効率的な運営をめざして、メーカーとの連携・改善を進めていきたいと思っております。

全日本ジュニア・ユース大会においても、申し込みシステムが全日本選手権と同じウェブシステムに変更になり、また参加標準記録突破期間が9月23日までに変更になったため、資格審査・番組編成などの準備に余裕のない日程でした。皆様のご協力によって、準備・運営を滞りなく進めることができました。この経験を来年の全日本選手権大会の運営に生かしていきたいと思っております。(石鎚 一則)

女性委員会

トラックシーズンが終わりました。今年度も多くの女性アスリートが活躍した1年となりました。

県内では、7月11日(土)・12日(日)に第12回愛知レディース陸上競技大会が開催されました。今年も優勝者にはミルキーウェイ様より花束を贈っていただきました。また、プレゼンターには、走高跳で活



ミルキーウェイからの花束

躍された川澄真子様(岡崎城西高出)を迎え、表彰式は女性の大会として大変華やかなものになりました。

そして今大会は、100m + 200m + 300m + 400m リレーでは至学館高校(磯部、柴山沙、柴山亜、時久)と愛知高校(浜田、清水、一ノ瀬、吉田)が県新記録・大会新記録を樹立。また、3000mSCでは神谷もも(中京大中京高)と後藤梨奈(岡崎城西高)が県高校新記録・大会新記録を樹立しました。この他にも中学の部では100m 1走 磯部 まみ 2走 柴山沙也香が2、800mが2、走高跳 3走 柴山亜沙美 4走 時久 彩音が1、走幅跳が1の大会新記録と、走高跳で1の大会タイ記録が生まれました。また、一般大学高校の部では100mが3、200mが6、400mが1、100mHが1の大会新記録と、200mで大会タイ記録1が樹立されました。このように今年度は、多くの新記録が続出する素晴らしい大会となりました。大会にご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。そして、参加していただいた多くの女性アスリートの皆様、来年度のご活躍を女性委員会は応援します。頑張ってください。

マラソンシーズンとなりました。今年度も3月に名古屋ウィメンズマラソンが開催されます。今回は要項が少し変更となり、2万人の女性ランナーが参加します。これまで以上に大きな大会となります。一人でも多くの女性審判員にご協力いただきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。(谷崎 好美)



【県新記録でリレー優勝の至学館高校】

1走 磯部 まみ 2走 柴山沙也香
3走 柴山亜沙美 4走 時久 彩音

年誌資料・広報委員会

愛知陸協 80 周年記念誌発行

一般財団法人愛知陸上競技協会は創立80周年(平成26年)を迎え、記念事業の一環として平成27年9月に「愛知陸協80周年記念誌」(写真)を刊行しました。

内容は

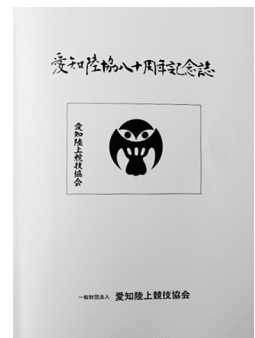
- ① 創立80周年記念
- ② この10年の歩み
- ③ 4地区と関係団体の歩み
- ④ 栄章
- ⑤ 資料集
- ⑥ 組織
- ⑦ 審判員名簿
- ⑧ 加盟団体

及び付録・年表で構成されています。

特に②で特集した座談会では、「今後の協会運営について」と「選手強化について」を収録しました。

問合せは、愛知陸協事務局(1頁参照)へ。

(新見 精三)



学校訪問②⑦ 豊橋南陽中学校 県中総体男子優勝

今回は、今年度の県中総体男子の部で総合優勝を果たした豊橋南陽中学校を訪問しました。短距離勢が活躍をし、2年100mではワン・ツーフィニッシュ。4×100mRでも優勝しています。2年100mを大会新記録(11"13)で制した小倉一心君はジュニアオリンピックの4×100mRの県代表(第三走者)に選ばれて、100mと合わせて2種目に出場しました。結果は2種目とも6位に入賞するという活躍でした。こうした選手がいても、一握りの選手の活躍だけでは総合優勝は果たせません。部全体に、何がしか強さの秘訣があるのではないかと、その秘訣を探るべく、今回も取材をしました。



脚筋力トレーニング

練習の開始時刻が9時だとお聞きし、私は余裕を持って8時20分過ぎに到着をしました。余裕を持って1本前の電車にしてよかったと思いました。到着後すぐに強さの秘訣と言ってよい光景を目の当たりにすることができたのですから。到着した時には既に数人の生徒が登校しており、8時30分過ぎには多くの生徒が登校してきました。登校してすぐに準備が始まり、グループ(4,5組に別れていました)ができあがるとすぐに活動が始まったのです。今まで訪問した学校のどこにもない形です。どの学校でも練習開始時刻になると集団でジョグをして準備体操をしてという流れでしたが、南陽中学校では違っていました。グループの代表者でしょうか、グループのうちの一人が岡田淳史先生に「始めてもいいですか」と声を掛けて、バラバラに練習が始まってしまったのです。エッと思ったのですが、皆が集まるまで待って空白の時間が流れてしまわないようにとの工夫だと考えれば合理的だとも思われました。しかし、お話をうかがうとそれだけではありませんでした。見ておきますと、ドリルから始めるグループもあれば、体幹トレーニングから始めるグループ、ゴム製の補助具を使った脚筋力トレーニングから始めるグループもありました。岡田先生は、こうすることで全ての生徒に目が行き届くとおっしゃっていました。全員が同じ動きをしていると、一人ひとり全員の生徒に細やかな視線を向けることができないというわけです。中学生ですから、体もまだできあがってはいません。走りの技術も十分には身につけてはいません。だからこそ、顧問の先生が細やかな視線を向ける必要があります。この形ですと、一人ひとりに十分な視線を注ぐことができます。初めて目にする形でしたが、この点も合理的だと言えるなと思いました。

流し、スタートダッシュといった全体練習が始まるまでには、かなりの時間が費やされました。40分ほどだったでしょうか。体力、技術の基礎的な部分を十分に底上げするという岡田先生の方針なのでしょう。その方針が県中総体で花開いたのだらうと思われました。4,5人のグループなので、ドリルについては一人ひとりに十分なアドバイスができます。時間をかけることと先生のアドバイスによって、生徒たちは技術を高めていっているように思われました。また、段差を利用したジャンプ補強や補助具を利用した筋力トレーニングは無理な負荷をかけることなく、じわりじわりと筋力を高めていっているのだと思いました。岡田先生は、「部活は2時間」とおっしゃっていましたが、この言葉が緩やかに積み上げていくことを方針とされていることをしっかり示しているように思われました。



ドリル

次に挙げなければならないのは、部活の雰囲気です。先に、総合優勝は一握りの選手の活躍だけでは果たせないと書きました。南陽中学校の練習を拝見していると、強い選手が何人もいれば総合優勝ができるというものでもないという思いが湧いてきました。なにしろ、楽しそうなのです。2時間ほどの時間、選手たちの表情には笑顔がよく見受けられました。鍛錬は苦しみを伴うものだというイメージがあるのですが、楽しんでこそ強くなれるという思いを強くした一日でもありました。日ごろの人間関係がそうさせているのでしょう。1年生の女子に砲丸投を指導していた2年生の女子部員や3年生で長距離のパートを引っ張っていた男子の姿などを見ていると、この部には学年の壁は無いなと思われました。男女の間にも壁は見受けられませんでした。部が一つになり、チームになっていたからこそ、総合優勝も果たせたのだと思います。

部が一つになるということでは、どうしても書いておかなければならないことがあります。それは、今までに訪問した学校の中で、顧問の先生と部員との距離が最も小さい、近いということです。岡田先生は、なにしろ元気です。常に選手の側に近づいて声を掛けていらっしやいました。2時間の間、常に動いていらっしやいました。私は、選手とのコミュニケーションを大事にしていらっしやるとお見受けしました。先生を中心にいつも輪ができ、そのやりとりの中で次の動きへと進んでいきます。この移行が実に滑らかなのです。選手たちが先生に親しみを感じているのでしょう。中学生ですから、自分で考えてという点では高校生よりも低いでしょう。だからこそ顧問の先生の指導力が物を言うことになると思うのですが、先生の言葉は選手たちの中にスーッと入っていつているようでした。そして、練習に対する意欲を湧かせるものにもなっていました。岡田先生のもとで楽しんで強くなっていつている選手たちを見ていて、小言ばかり繰り返している自分が恥ずかしくなった一日ともなりました。

ジュニアオリンピックで入賞を果たした小倉君はまだ2年生。ワン・ツーフィニッシュの藤井裕也君もいます。そして二人とともに押し上がっていく部活の雰囲気があります。この冬を越えて、来年には南陽中学校が更に大きな活躍を見せてくれることだろう、そう思いながら私は帰途につきました。(取材文責 大西敏功・写真 横田小百合)



ジャンプトレーニング



笑顔あふれるミーティング

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

パロマ瑞穂スタジアムで行なわれている「ふれあい陸上教室」は、今年度も6月から10回にわたって実施しています。この教室は、名古屋市ジュニアスポーツ教室（名古屋市教育委員会）の一つとして、市内20箇所の施設で陸上を含む22教室が開かれています。完全学校週5日制の実施に先立ち、平成14年、陸上、サッカー、ラグビーの3教室がスタート。陸上教室はそのパイロット事業として平成9年度から、愛知陸協名古屋支部（現：名古屋地区陸協）も主催に加わり8月に3回、9月に2回実施しました。その目的は、土曜日の放課後クラブ活動がなくなり、社会スポーツへのニーズに応えたい。専用の施設を利用して陸上競技の好きな子どもを増やしたい。子どもたちの体力・運動能力の低下が叫ばれる中、全てのスポーツの基礎となる走・跳・投の力を身に付けさせたい。この教室に指導者として参加して指導技術を高め合える場を確保したい、などの思いがありました。その思いは当初より教室の暖かい雰囲気から「ふれあい」の名前を付け20年近くの間、脈々と関係者に受け継がれてまいりました。平成10年には年間10回、定員100名として実施。平成16年度からは希望者の増加に伴い定員を現在の250名としました。ここ数年は定員を大きく越える希望者があり、抽選で参加者を絞り込む状況です。



夢に向かってスタートダッシュ かけっこ大好きな名古屋っ子

一方で市のジュニアスポーツ教室には、自主クラブの設立・運営の狙いがありました。その中でいち早く村上毅治先生のもと「なごや陸上クラブ」の設立へと繋がり、今では自主クラブも市内に複数設立されてまいりました。

ふれあい陸上教室で陸上競技と出会い、クラブチームで陸上の楽しさを学んだ子どもたちの中に、女子短距離の石原里奈さんや森佑紀那さん、男子の大原康平くんたちを始め、全国小学生陸上競技交流大会上位入賞者も多数輩出していることや、自主クラブの選手が競技会で活躍していることは周知のとおりです。また、教室修了者が指導者として戻り協力してくれるまでになっています。地区陸上協会としてもこの流れが継承されるよう今後も努めてまいります。（水野 久）

尾張陸上競技協会

第1回尾張陸上競技記録会（4月4日・5日）からスタートし、尾張中学新人戦（10月31日）まで、延べ17日の開催、共催の大会を実施しました。審判員が手薄で参加者に迷惑を掛け、参加団体のご協力を得て運営することもありました。各大会の総括や決算をし、専門委員長会で来年度の大会要項作成に入りました。

今年度は、多くの好記録が誕生しました。中でも高校生は和歌山インターハイに5名が、第3回全国高校選抜大会には8名が出場しました。国民体育大会には2名出場し1名が上位入賞、日本ジュニア・ユース大会には4名出場し1名が上位入賞を果たしました。

一方全国定時制大会には11名が出場し、5名が上位入賞を果たしました。中学生では7名が全日中大会に出場し、1名が上位入賞を果たしました。小学生では1名が全国大会に出場し、上位入賞を果たしました。

全国大会入賞者

①国民体育大会

岩田 知大（一宮北高） ハンマー投 59m11 4位
円盤投 45m78 8位

②日本ユース選手権大会

岩田 朋弥（一宮北高） ハンマー投 57m30 4位

③全日本中学校選手権大会

吉田 潤平（滝中） 110mH 14秒37 5位

④ジュニアオリンピック

吉田 潤平（滝中） 110mJH 15秒01 4位

⑤全国小学生交流大会

石田 大河（AC一宮） 5年100m 13秒48 5位

なお県高校新人戦では、男子が7人8種目、女子が7人9種目に入賞して東海大会に出場しました。東海新人戦では、男子が2人2種目、女子が5人5種目に入賞しました。来シーズンに向けて明るい展望が開けています。

尾張陸上競技選手権では優勝者にカップを授与し、更に最優秀選手賞に男女各1名を選出し表彰いたしました。この大会は多くの好記録や新記録が誕生し、1年のしめくりに相応しい大会となりました。

尾張陸上競技選手権大会での尾張新、大会新記録樹立者

	種目	氏名	所属	記録	備考
男子	400m	祖父江 巧	江南高	48.49	大会新
	800m	橋本 将弥	一宮興道高	1.55.65	大会新
女子	100mH	河井かのこ	一宮高	15.49	大会新
	ハンマー投	田口 優	中京大	49.26	尾張新

以前に尾張陸協の独自の取り組みとして、休日の県営一宮総合運動場利用に関して安全推進員を派遣していることをご報告しました。この他にも尾張陸協では競技会の運営や組織の運営に関して、創意工夫、努力をしておりますので少しずつ紹介をします。

今回は跳躍競技における風力の表示板です。これまでの風力の表示板は、トラック競技のものしかありませんでした。そのため跳躍審判員は、競技終了後に記録と風力を合わせなければなりません。予選の3回とトップエイトの3回の風力を記入するには時間がかかり、発表が遅れてしまうという事態に陥っていたのです。それを解消したのが、写真の表示板です。風力計測の補助員を1名増やし、跳ぶごとに跳躍審判の記録員に見える形をとりました。

この表示板はホームセ



手作りの風力表示板

ンターで購入したアクリル板に数字の紙をラミネート加工したものを取り付けてあります。跳躍審判員の1人が手作りしたものです。これによって記録員はその都度風力を記入することができ、競技終了直後に記録表を本部に提出することができるようになりました。もちろん、記録のアナウンスまでの時間も短縮されました。

残す行事は尾張駅伝、犬山ハーフマラソン、陸上競技教室、総会、審判講習会、尾張陸協懇親会となりました。今シーズンも多くの方々のご協力に心から感謝を申し上げると共に、残りの事業にも格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。(小島 末広)

特に2日間協力していただいた安城東高等学校の補助員の皆さんに感謝いたします。



全国聾学校大会 出発合図(光刺激スタートシステム)採用
(柴田 和秀)

西三河陸上競技協会

トラックシーズンも後半に入り、中高の新人戦・記録会・駅伝・マラソンと休みなく大会が続きます。審判員の負担も大変ですが、それぞれの大会が円滑に終了することが出来るよう引き続きご協力をお願いします。

例年同様、本地区の選手たちはバランスよく活躍してくれました。全国高校総体では、男子10種目・女子14種目に参加しました。特に女子の活躍が目立ちました、走高跳では2位浅井さくら・3位中西美早・4位兼川乃衣、400mは5位松本扶弥(以上岡崎城西:フィールド総合優勝)、100m6位中野真琴(安城学園)が入賞しました。男子の入賞が無かったことは残念でしたので、来年度へ向けて更なる努力を期待します。

全日本中学校選手権大会では、男子800m優勝鳥居風樹(末野原)、3000m優勝大上颯麻(猿投台)、1500m7位馬場勇一郎(上郷)、女子1500m4位小笠原早矢楓(鶴城)、800m5位細井祐菜(矢作)の入賞でした。特に中長距離の活躍が目立ちました。今後の課題として男子の短距離を中心に強化をお願いしたいと思います。

小学生では、これまでの安城中心から各地区に活動の広がりを見せ、本年度は特に力をつけてきた岡崎JACが立派な活躍をしてくれました。全国小学生交流大会で、女子4×100mR優勝(沢田幸奈:矢作南一北田野々花:大門一土居心愛:六名一藤原古都羽:梅園)、5年100m優勝土居幸愛(六名)、6年男子100m5位山下有牙(六名)が入賞しました。今後もお互いに切磋琢磨して頑張ってくれることを願っています。

和歌山国体においても、棒高跳2位山本聖途(トヨタ自動車)、400m4位松本扶弥、走高跳6位中西美早(共に岡崎城西)、4×100mR6位市川華菜(ミズノ2走)・中野真琴(安城学園4走)の結果でした。

10月9・10日には全国聾学校陸上大会が、ウェーブスタジアム刈谷で開催されました。最初は通常の大会とは異なる部分があり戸惑いもありましたが、審判員・補助員の協力で無事大会を終えることができました。閉会式後、全国聾学校会長より、今回のように立派に運営された大会は今までに見たことのない大会でした、と感謝されました。これは日本ジュニア・ユースなどの大会において、「選手に親切で観客に見せる大会運営」を心掛けてきた成果だと思います。聾学校の大会は、他の大会以上に電光掲示板が無ければスムーズに運営できません。平成25年度の聾学校大会ではカタカナ表示でしたが、今回は2月に完成した大型映像を使用することができたことも大会成功の大きな要因だと思います。また、各高等学校では試験週間の中、

東三河陸上競技協会

2015年度のトラックシーズンを振り返って、印象に残っていることを報告します。

第一には、ここ数年若い審判員が増え、大会の運営にゆとりがもてるようになりました。そして、その結果競技者への指導にも大いにプラスとなり多くの大会で、入賞ラインが高まり全体の底上げができています。

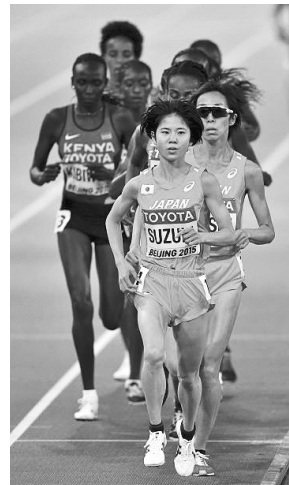
そんな中で、記録の向上があまり見られないのが投てき種目です。これは、指導者の問題というよりも、投てきの練習環境の整備が遅れていることに一因があると思います。今後、安心して投てきの練習ができる環境をどう整備していくか、関係部署と詰めていく必要があります。

次に、トラックシーズンの東三河勢の活躍について触れたいと思います。高等学校では、和歌山で7月29日～8月2日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、3校から個人10名とリレー1チームが出場を果たし、男子5000mで長谷川令選手(豊川)が8位に入賞しました。

中学校では、北海道で8月19日～21日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、9校から個人9名とリレー1チームが出場を果たしました。そして、男子400mで中谷竜麻選手(高師台)が6位、定盛匡哉選手(豊川中部)が8位に入賞しました。

小学校では、神奈川で8月22日に行なわれた全国小学生陸上交流大会に、豊橋陸上クラブから2名が出場しました。そして、男子走幅跳で上村耕志郎選手が7位に入賞しました。

最後になりましたが、豊橋出身の鈴木亜由子選手(日本郵政)は、6月に新潟で行なわれた日本選手権の女子



力走する鈴木選手
(写真提供:毎日新聞)

5000mで3位に入賞し、8月に北京で行なわれた世界陸上に出場し、惜しくも入賞は逃しましたが、途中まで先頭でレースを引っ張り9位と大健闘しました。また、9月に岐阜で行なわれた全日本実業団対抗の女子10000mで自己ベストの31分48秒18で優勝し、来年開かれるリオ五輪の参加標準記録を突破しました。来年6月に瑞穂で開かれるリオ五輪選考会を兼ねた日本選手権が楽しみです。

(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

11月3日(火)にパロマ瑞穂陸上競技場で第29回愛知県小学生陸上競技選手権大会が開催されました。来年の日本選手権への盛り上がりとともに、県内の小学生の競技力向上が期待されます。練習の成果を十分に発揮し頑張る選手、応援の保護者とともに力のこもった様子が見られました。また、ソフトボール投から新しくヴォータックス投に変わりました。音を楽しみながら、勢いよく投げる姿が印象的でした。今後の活躍に期待します。大会の結果は競技会報告をご覧ください。(佐々木博幸)

“日清食品カップ”第31回全国小学生陸上競技交流大会
選手団名簿

日程：平成27年8月22日(金) 会場：日産スタジアム

カテゴリー	氏名	所属クラブ
総監督	大矢 新吾	なごや陸上クラブ
コーチ	谷崎 好美	小学生友の会
	松井 昭宏	岡崎 JAC
	西村 嘉二	AC一宮
支援コーチ	上村 哲司	豊橋陸上クラブ
	桑山 修一	TSM
	鳥本 靖之	JAC武豊
	大野 真二	安城北部小学校

男子

種目	選手名	チーム名	記録
4×100mR	高橋 隼人	TSM	49秒84 1位
	小幡 岳人		
	濱田 晃成		
	桂木 大和		
	※服部 聡志		
5年100m	石田 大河	AC一宮	13秒48 5位
6年100m	山下 侑牙	岡崎 JAC	12秒41 5位
80mH	中井 康暉	なごや陸上クラブ	12秒36 3位
走高跳	川口 遥己	JAC武豊	1m35 12位
走幅跳	上村耕志郎	豊橋陸上クラブ	4m96 7位
ソフトボール投	榮 墨唯	豊橋陸上クラブ	70m71 10位

女子

種目	選手名	チーム名	記録
4×100mR	澤田 幸奈	岡崎 JAC	51秒65 1位
	北田野之花		
	土居 心愛		
	藤原古都羽		
	※蒲野なつみ		
5年100m	土居 幸愛	岡崎 JAC	13秒42 1位
6年100m	松山明里咲	TSM	13秒53
80mH	神田 彩名	TSM	12秒54 2位
走高跳	脇田瑠梨果	TSM	1m38 2位
走幅跳	高崎 桃花	TSM	4m24 25位
ソフトボール投	中嶋 詩乃	安城北部小学校	41m22 38位

※印は友好レースに出場

8月21日(金)・22日(土)にかけて、第31回全国小学生陸上競技交流大会が今年も横浜市・日産スタジアムで開催されました。1日目の金曜日は大会前練習だけでなく日清食品ミュージアムの見学を始めとするプログラムが組まれていて、小学生にとっては十分に楽しめる内容となっており、競技会は2日目の土曜日に開催されました。

今大会は愛知県選手団で優勝3種目(男子リレー、女子リレー、5年女子100m)、2位2種目(女子80mH、女子走高跳)、3位1種目(男子80mH)を獲得し、全14種目中9種目で8位以内に入賞するという、近年にない好成績を収めることができました。特にリレーで男女とも優勝というのは、愛知県勢では初めてのことです。子どもたちの実力の高さが一番の理由ではありますが、1日目の移動の新幹線車内から子どもたちがリラックスして大会に挑めたことが大きく影響していると思われます。2週間前に選手・コーチ・保護者が集まり、合同練習会を行なったことで、子ども同士、保護者同士、コーチ同士が友好を深めて大会に挑めたことも大きかったのではないかと思います。

また、今大会で引率をしたコーチ・支援コーチの8名のチームワークも良く、全員が愛知県選手団としての意識をもって参加し、尽力できた成果であると考えます。



全国交流大会で大活躍の小学生

(大矢 新吾)

中小体連

○全日本中学校陸上競技選手権大会(8/18～21 北海道)

本県より73名が出場しました。この数字は、昨年の香川大会での75名(過去最高)に次ぐ数字です。また、各都道府県別の出場者ランキングにおいてもトップ5に入る出場者数です。

結果は、男子800m、男子3000m、男子走幅跳の3種目において優勝者を輩出することができました。本県からの優勝は平成21年の大分大会以来7年ぶりであり、男子の部で3種目優勝を果たしたのは本県史上初となる快挙です。また、大会後の専門誌上には恒例の県別対抗順位が掲載されますが、本県男子は全国第1位、男女順位は千葉県、兵庫県に次いで全国第3位と、優勝者以外にも多くの選手が高いパフォーマンスを存分に発揮することができたと考えます。

この成果の背景は、選手の努力、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の支えによる所が最も大きな要因であることはいうまでもありません。さらに、それ以外に大きく3つの要因があると思います。

1つ目は、多くの中学指導者、国体強化部の高校の先生方に加え、昨年より小学校クラブチームの先生方にもご協

力いただき、愛知陸協選手強化委員会ジュニア部として「ジュニア強化練習会」を開催していただいていることが挙げられます。

2つ目は、各地区での陸上クラブチームの活動が小学生の年代に、陸上競技の楽しさを味わわせていただいていることです。

3つ目は、今年の3年生が1年生の時（平成25年）に本県で全日中を開催したことです。多くの選手が1年生の時に観戦し、「自分も3年生になったら、この舞台に立ちたい」という大きなモチベーションを持った世代であったことが挙げられます。

今大会の結果は、2年前、灼熱の瑞穂競技場で開催した愛知全日中のレガシー（遺産）であることは明らかであり、改めて大会開催にあたり尽力をいただいた各方面の方々に感謝申し上げるとともに、次年度に向け、新たな選手育成の指針を胸に、中体連としてさらなる飛躍をめざし、尽力していきたいと考えています。

なお、平成28年の全日中大会（8/21～24：長野）より、以下の5種目において標準記録の引き上げが検討されています。ご準備ください。正式には年度末の日本中体連理事会において決定の予定です。

男子 3000m	8.59.00	→	8.57.00
男子走幅跳	6m50	→	6m55
女子 800m	2.17.00	→	2.16.50
女子走幅跳	5m40	→	5m45
女子四種競技	2600点	→	2630点

(丹羽 智行)

高体連

平成27年度トラックシーズンを総括して

今年のトラックシーズンは、高体連にとって非常に活気のある、頼もしかったシーズンになりました。

和歌山総体では、東海総体の勢いをそのままに、至学館高校の活躍が本当に光りました。向井智香選手が2種目優勝を成し遂げ、久しぶりに全国チャンピオンが誕生しました。柴山選手が2位、時久選手が4位、リレーでは2種目とも入賞を果たし、総合でも2位に入賞しました。日頃からの努力に心からお祝い申し上げます。

愛知県としても総勢150名の選手を和歌山県に派遣することができました。東海地区はもちろん、全国でも北海道に次ぐ参加者を派遣することができました。実質的には全国1番だと思えます。小学生からの普及・強化の成果が現れ、競技人口の増加が多く参加者を生み出した大きな一因だと思えます。これからは生徒数の減少が見込まれますが、先生方と協力しながら今後とも頑張っていきたいと思えます。

愛知県高校駅伝も皆さま方のご協力のもと、男子は豊川高校が2年ぶりの栄冠を獲得しました。昨年度覇者の愛知高校とラスト200mまで繰り広げたデッドヒートは見応えがありました。女子は岡崎学園高校が初優勝し、都大路の全国大会への切符を手に入れました。2年前の記念大会の東海高校駅伝では同タイム2位で全国への切符を逃し、本当に悔しい思いから晴れて全国出場権を獲得しました。両校とも愛知県「22」のナンバーカードで全国優勝を目指し、活躍を期待します。また、本年度は高校駅伝京都開催50

ホープさん 30

浅井 さくら 選手 (岡崎城西高2年)

浅井さくらは現在高校2年生の岡崎市城北中学出身で、中学2年生のときから走高跳で全日中に出場しており、3年で1m63を跳び5位、日本ジュニアオリンピックでは1m64を跳び4位と中学から全国区の選手でした。本年度も日本選手権に出場し1m70で15位、全国インターハイでは1m75を跳び2位、日本ユース選手権では1m76の大会記録で優勝を果たしています。

彼女の跳躍を初めて見たときの印象は踏切にスピードとキレがあり、男子選手でもこんな跳躍をする選手はいないという驚きでした。専門的な話ですが彼女の背面跳びはランニングアームスタイルと言って踏切動作が走幅跳に似たスタイルです。このスタイルは身長が1m65cmの彼女にとって助走スピードを最大限に活かせる特徴があります。これも中学校での指導の賜物だと感謝しております。

彼女の最大の魅力は、試合で見せる集中力です。また勝利に対する欲求もとても強いです。インターハイ1週間前のことですが、前半の助走の部分で力みが出ていてスピードに乗らない跳躍をしていたので、愛知県での最終跳躍の日に助走での歩数を一歩増やすように進言しました。大きな試合前において助走を変更することはリズムを崩す原因となりリスクをはらんでいましたが、インターハイで勝つために勇気を持ってチャレンジしてくれました。インターハイ当日はやはりリズムが安定しなくて予選から失敗跳躍が多く、予選は7位通過でした。しかし普段から「練習では試合を意識した練習を心掛けている」と言っているとおり、決勝では徐々によくなっていき1m75をクリアしました。1m78の3回目は跳べば優勝という状況で、とても惜しい跳躍を披露してくれました。全国大会で力を発揮するのはとても難しいことです。2年生で結果を残したのは、やはり素晴らしいことだと思います。

彼女は雑誌の取材で走高跳の魅力を聞かれたときに、失敗しないと終われない競技だと答えていました。「競技を終るには、必ず失敗しないとけない。最後の失敗がなければ終われないので、終わったときには必ず次の課題が見えるんです」と答えていました。指導者として、彼女がどんな目標と課題をもってやっていくのか興味は尽きません。そしてこれからも失敗から学んでさらに成長していくことを期待しています。

(宇野 雅昭)



左がインターハイ2位の浅井選手、3位の中西、4位の兼川、岡崎城西高トリオ

周年で記念大会となり、東海代表枠が有ります。県大会の記録は男女とも素晴らしいものでしたので、県高校駅伝6位入賞校には、この代表枠の獲得を目指し、更なる活躍を期待したいと思います。

運営については、本年度も万全の準備を済ませ、大会に臨みました。競技役員の欠席や辞退によるやり練りが大変ではありましたが、なんとか無事に終了することができました。皆様のご協力に感謝をいたします。

東海高校新人大会で、大府高校の古田選手が400mで47秒06と素晴らしい記録で優勝しました。米年度の全国チャンピオン候補1番手です。実りある冬季トレーニングを積んで、米年度の活躍を期待します。

米年度の全国総体は岡山県で行なわれます。本年度の150名という過去最高の参加者数の維持を目標に、陸協強化委員会とも協力をしながら目指していきたいと思えます。

東海高校新人選手権大会が米年度10月に愛知県で開催されます。皆様方のご協力をよろしくお願ひいたします。
(石井 哲郎)

高体連定通部

全国高校定通制大会～15年ぶり男女総合優勝！～



全国定通制大会男女総合優勝のメンバー

第50回の記念大会となった全国高等学校定時制通信制大会が東京・駒沢オリンピック公園陸上競技場で開催され、愛知県選手団は15年ぶり20回目となる男女総合優勝、女子は2年連続総合優勝を飾るなど大活躍となりました。

総合3位の男子は走高跳の濱崎優祐、走幅跳の杉下慶(ともに科技高刈谷)が優勝、女子では400mの松屋空(科技高刈谷)、4×100mリレー(愛知選抜:脇田・山口・松屋・春田)が優勝を飾りました。松屋選手は昨年に引き続き連覇となりました。好結果の要因としては、元々の個の力もありますが、今年度は県大会から参加校と選手が多くなり、全国出場選手の総合力が上がったこと。選手全員が精一杯力を発揮するとともに愛知県代表としての自覚を持ち、チームとしてまとまった結果であると思えます。ご支援いただいた陸協関係者の皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。

また、秋季県大会は10月11日(日)に開催され、男女とも科技高刈谷が総合優勝を果たしました。(野口 武則)

学連

2015年トラックシーズンを終えて

ユニバーシアードと世界選手権の開催年となった2015年のシーズンは、学生アスリートをはじめ代表入りを目指

していた国内のトップアスリートにとって、選考結果が大きな節目となったことであろう。前号でも触れたように、残念ながら東海学連からのユニバ代表選手はゼロであった。特に日本代表女子選手団に関しては、長距離種目からの選出が多く、スプリント系、及びフィールド種目の強化活動が急務であると再確認できた。

学生競技界の最高峰、今年度の日本インカレは大阪(長居、9/11～13)を舞台に熱戦が繰り広げられた。東海学連に所属する選手の成績は、男子走高跳(赤松諒一:岐阜大)、十種競技(清水剛士:中京大)、女子10000mW(五藤怜奈:中部学院大)、走高跳(相馬由佳:愛知教育大)の4種目において選手権者が誕生した。五藤選手については、昨年に続き大会2連覇となった。対校順位は、例年通り関東勢が上位を独占している男子に対して、女子は関西や九州勢をはじめとする大学の台頭がここ数年続いており、女子チームの勢力図に若干変化が見られる。それを象徴するかのよう女子総合10位の愛知教育大学は、フィールド得点順位では4位に入る素晴らしい活躍であった。

オリンピックイヤーとなる2016年のシーズンは、東海学連から4名のオリンピックが誕生したロンドン大会(12)に引き続き、ひとりでも多くの現役大学生が活躍できるよう大会運営、強化活動をはじめとした環境整備に努めていきたい。また、高い競技力を有する者のみが活躍するのではなく、様々なレベルの選手が個々の価値観を持って競技に携わることができる、スポーツ本来の魅力を大切にす東海学連を目指して来シーズンを迎えたい。



相馬由佳(愛教大,女子走高跳) 清水剛士(中京大,十種競技)



五藤怜奈(中部学院大,女子10000mW) 赤松諒一(岐阜大,男子走高跳)
(黒須 雅弘)

実業団

トラックシーズンを終えて

実業団勢の2015年度のトラックシーズンを振り返ってみました。

男子では、トヨタ自動車の山本聖途選手の活躍が光りました。全日本実業団男子棒高跳において、リオオリンピック参加標準記録の5m70をクリアし、再度、世界への挑戦権を掴み取りました。次の大会では、自己記録の5m80以上を期待します。女子では、世界選手権4×400mRにおいてミズノの市川華菜選手が第2走を走り、3分28秒91の日本新記録に貢献しました。オリンピック2大会連続出場に向けて大いに期待しています。

愛知では、高校生、大学生の活躍が目立ちますので、実業団も負けられない記録を出せるよう頑張っていきます。

最後に、これから始まる駅伝シーズン、男子ではトヨタ自動車、トヨタ紡織、愛知製鋼、愛三工業他、女子では、豊田自動織機等の走りに注目です。



全日本実業団5m70の大会新記録をクリアする山本選手
(写真提供：トヨタ自動車)
(中村 博之)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会の貢献役

8月22日～29日中国北京で開催された2015年世界選手権のエキジビションとしてマスターズ女子W50の400mが最終日に行なわれました。参加標準記録をクリアした日本でただ一人の碓井由紀子選手(豊川市)が出場しました。レースは世界7か国9選手が大歓声の中で激走し、碓井はシーズンベストの65秒34で7位入賞しました。W50の中では最高齢の54歳というハンディの中、素晴らしい成績であろうかと思えます。写真のように会場の盛り上がりを見ますと、マスターズ部門は今後、オリンピックや世界選手権の正式種目に向けての第1歩を歩み出したものと確信しました。



世界選手権マスターズ出場の碓井選手：右端

8月22日(土)今年度最後の第59回記録会を開催しま

した。午前中と限られた競技時間の中で、前回は受付で参加をお断りしていましたが、それでも446人が参加され、終了は30分程遅れてしまいました。今回はあらかじめレース数を明示し、当日、先着順で受付ました。今回は346人が参加され、前回より100人減りましたので、ほぼタイムテーブル通りに終了することができました。

10月30日(金)～11月1日(日)岐阜メモリアルセンター長良川競技場において第36回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が開催されました。この大会には愛知県から男子193人、女子45人、計238人が参加しました。これは全国一の参加者数で、過去の大会においてどの都道府県もこれだけの参加者はいません。愛知が開催した第30回の206人をも超えています。

競技面においても個人種目で男子が17人25種目、女子が23人29種目、計40人54種目でチャンピオンになりました。リレーでも愛知が大活躍し、男子4種目、女子4種目、計8種目で1位となりました。全体を見ますと男女とも30代～50代の活躍が目覚ましいものがありました。この年齢層は選手数も多く、レベルも高いため全国チャンピオンになるのは至難の業ですが、愛知が獲得した54種目のうち46種目は、この年齢層で獲得したものでした。60代以上では8種目でした。個人では、男子ではM45小高孝二(豊田市)が60m 7.37、100m 11.40、200m 23.36、M50渡辺実(一宮市)が60m 7.60、100m 11.85、200m 24.74。女子ではW40酒井あおい(名古屋市)が60m 8.29、100m 12.91、200m 27.26でいずれも短距離での3冠を獲得しました。全国大会常勝のM80近藤陽洲(名古屋市)が砲丸投9m60、円盤投25m90、ハンマー投30m13で投てき3種目を制しています。

新しい芽としては、男子ではM30西 淳史(豊田市)が110mH 14.55、400mH 54.29、M30横井貴臣(弥富市)が円盤投32m84、ハンマー投46m22。女子ではW55林 啓海(尾張旭市)が100m 15.44、200m 32.30、W45佐藤昭子(美浜町)が砲丸投8m14、円盤投25m45でいずれも2冠を獲得しています。今後の活躍が期待されます。また、全国大会常勝のW45宮本百合(一宮市)が100m、200m、W50碓井由紀子(豊川市)が200m、400m、W55中山淳子(名古屋市)が1500m、3000mの2冠をとり、存在感を示していました。



全日本マスターズ大会で大活躍の面々

(佐野 昭二)

OB・OG会

秋の気配が感じられる頃となりました。日頃は愛知陸協OB・OG会にご協力、ご支援いただきありがとうございます。

さて、今年の秋の行事は趣を変え、演芸鑑賞を楽しんでいただきました。まず、昼食には大須老舗店の鰻で舌鼓を

うち、その後大須演芸場で寄席を鑑賞しました。大須演芸場は一時閉館されましたが最近再開場され、平日でもほぼ満席の入りでした。落語・漫才・ものまねなどで2時間余り、大いに笑い大いに楽しんでいただきました。会員の日頃の競技場の審判の時とは違った面が感じられ、充実した半日となりました。なお、参加者は37名でした。

今回は、1月に東三河地区担当で宿泊懇親会を予定しています。ぜひご参加をお待ちしております。



大須演芸場にて

(村瀬雄一郎)

競技会報告

第75回愛知陸上競技選手権大会
兼第58回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第70回国民体育大会選手選考競技会

2015年7月18日(土)・19日(日) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子

種目	1位	2位	3位
100m	高橋 周治 10.53 愛知医科大	渡辺 将志 10.82 中央大	松本 優一 10.84 中京大
200m	丹羽 勇揮 21.08 中京大	松本 優一 21.29 中京大	青木 滋音 21.44 名古屋高
400m	安井 一樹 47.31 小島プレス	鳥山 大輔 47.77 至学館大	岡田 壮平 48.42 法政大
800m	廣出 和樹 1.55.64 早稲田大	鹿居 二郎 1.56.34 中京大中京高	竹下 航世 1.57.01 小島プレス
1500m	青木 祐人 4.02.62 愛知高	小原 祐生 4.03.88 愛知製鋼	前田 智広 4.04.71 名経大高蔵高
110mH (1.067m)	清水 陽平 14.37 中京大	古元 翼 中央大 矢野 智大 中京大	14.49
400mH (0.914m)	三浦 央頌 51.52 愛知学院大	山本 躍斗 51.58 城西A・C	大久保直哉 51.65 中京大
3000mSC (0.914m)	河野 宏樹 9.16.03 TTランナーズ	加藤 聡 9.18.61 トヨタ自動車	原嶋 溪 9.20.40 刈谷高
5000mW	及川 文隆 20.38.02 東洋大	斉藤 凱 21.02.29 平成国際大	杏名 貴輝 21.06.96 東洋大
走高跳	水谷 来 2.17 中京大	早川 周吾 2.11 安城学園アスリートクラブ	道脇 大斗 2.08 OBU エニスポアスリートクラブ
棒高跳	高田 凌 5.00 中京大	山本 貴之 小本 曾光 大日本図書 中京大中京高	4.80
走幅跳	二宮 聡史 7.75 都留文科大	永尾 直哉 7.68 岐阜経済大	東 孝一 7.64 小島プレス

三段跳	平尾亮一郎 15.25 AGX	鈴木 雄貴 15.11 ウェーブ	角野 陽亮 14.90 岡崎TFC
砲丸投 (7.260kg)	江崎 亮人 14.19 日本大	白藤 聖陽 14.06 安城学園高	白石 健太 13.86 東海大
円盤投 (2.000kg)	越 寛将 46.33 中京大	小野 真弘 44.39 愛知茗友クラブ	小出 拓実 44.19 愛知大
ハンマー投 (7.260kg)	久保 浩司 61.88 中京大クラブ	古旗 崇裕 53.50 中京大	北浦 弘之 52.24 中京大クラブ
やり投 (0.800kg)	藤垣 諒 65.83 至学館大	榊原 寛紀 62.32 豊田自動織機	大野 芳幸 62.23 JR東海陸上競技クラブ

最優秀選手 水谷 来 (中京大)

女子

種目	1位	2位	3位
100m	中野 真琴 11.98 安城学園高	杉山 美貴 12.20 中京大	柴山沙也香 12.25 至学館高
200m	柴山沙也香 24.40 至学館高	丹羽愛利彩 24.59 中京大	吉田 紗弓 24.66 愛知高
400m	檜山 楓 55.99 至学館大	時久 彩音 56.19 至学館高	岩田帆乃夏 57.03 中京大中京高
800m	時久 彩音 2.11.61 至学館高	宇野 佑紀 2.12.41 安城学園高	吉川 侑希 2.13.41 愛知教育大
1500m	西河原 瑞 4.30.36 岡崎学園高	西川 優衣 4.31.98 時習館高	杉浦穂乃加 4.32.18 愛知黎明高
100mH (0.840m)	小林紗矢香 13.86 愛知教育大	飯田 美咲 13.94 中京大	藤原 涼花 14.19 至学館大
400mH (0.762m)	北野 有紀 1.00.28 愛知教育大	岩田帆乃夏 1.01.67 中京大中京高	齋藤 結 1.02.12 小島プレス
3000mSC (0.762m)	神谷 もも 10.55.42 中京大中京高	後藤 梨奈 11.02.25 岡崎城西高	竹嶋 央后 11.11.53 中京大
5000mW	深水 梨保 24.15.22 至学館大	岩田 奈央 24.17.96 千種高	長田 彩果 24.41.51 安城快足AC
走高跳	中西 美早 1.71 岡崎城西高	浅井さくら 1.71 岡崎城西高	1.68 杉浦 澄美 筑波大学 孤田梨香子 安城学園高 榊原至佳子 瑞陵高 兼川 乃衣 岡崎城西高
棒高跳	佐藤 愛 3.60 中京大	本田 史帆 3.40 中京大クラブ	所 杏子 3.20 中京大
走幅跳	明星 光 5.95 豊田高	澤井 萌奈 5.82 中京大中京高	石原 薫子 5.77 中京大
三段跳	中山 怜佳 11.96 至学館大	梶野 香子 11.63 至学館高	久世由香里 11.52 中京大クラブ
砲丸投 (4.000kg)	近藤 瞳 12.28 至学館大	桂山 李湖 11.80 至学館高	早瀬 名那 11.71 愛知教育大
円盤投 (1.000kg)	徳岡 沙織 40.64 起ドリームA・C	鈴木裕可里 39.40 一宮北高	近藤 香 38.85 津島北高
ハンマー投 (4.000kg)	中島 未歩 54.36 小島プレス	田口 優 50.63 中京大	能登 美幸 46.43 東京女子体育大
やり投 (0.600kg)	森 凧紗 50.95 慶応大学	石本 瞳 47.43 名古屋大谷高	高塚 裕子 47.30 中京大

最優秀選手 中野 真琴 安城学園高

第61回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第42回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第70回国民体育大会選手選考競技会 (少年B・共通)
 2014年7月20日(月・祝)・21日(火) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR:大会新記録 ◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m A決勝	深瀬 京佑 12.23 岡崎東海	都築 奨一 12.40 羽田	小川将一郎 12.44 福江
1年100m B決勝	水野 匠 12.71 原	ダゴイ ヒューゴ 12.87 武豊	川崎 嵐太 12.88 尾張旭東
2年100m A決勝	大崎 雅人 11.54 尾張旭東	藤井 裕也 11.61 豊橋南陽	柁木 達也 11.70 日進西
2年100m B決勝	坂東 泰基 11.54 弥富	早瀬優一郎 11.89 北陵	永田 智也 11.89 平針
3年100m A決勝	服部 匡恭 11.13 ◎富士	伊藤 彰海 11.24 阿久比	藏田 源貴 11.35 愛教大名古屋
3年100m B決勝	森 皓平 11.58 名古屋南陽	水草 有悟 11.68 香流	北村 祐人 11.70 成岩
200m A決勝	服部 匡恭 23.17 富士	森 皓平 23.65 名古屋南陽	伊藤 彰海 23.66 阿久比
200m B決勝	西川 泰誠 23.48 翔南	石川 郁海 23.66 碧南新川	猿渡 琉生 23.77 宮田
400m A決勝	前田 龍利 53.23 東港	柴山倫太郎 53.96 駒方	倉地 奎多 57.47 高橋
400m B決勝	西川 泰誠 52.98 翔南	土射津佑起 53.37 乙川	山内健太郎 54.32 豊岡
800m	鳥居 風樹 2.00.37 ◎末野原	中倉 啓敦 2.01.35 神の倉	服部 凱杏 2.01.59 千種
1500m	馬場勇一郎 4.01.38GR ◎上郷	大上 颯麻 4.01.86GR ◎猿投台	鳥居 風樹 4.02.08GR ◎末野原
1年1500m	中野 倫希 4.31.35 山田	細野 晃平 4.31.38 梅坪台	安藤 圭佑 4.31.75 豊川東部
3000m	大上 颯麻 8.49.89 ◎猿投台	葛西 潤 8.50.49 ◎東港	伊藤 伶真 8.54.83 ◎甲山
110mH (0.914m) A決勝	吉田 潤平 15.04 滝	蔭山 竜介 15.36 古知野	桶田 大晟 15.50 汐路
110mH (0.914m) B決勝	吉川 瑛亮 15.90 豊橋東部	神谷 翼 16.15 雁が音	池山 大地 16.41 萩山
4×100mR	豊橋南陽 44.21 丸山 直人 村田 響 藤井 裕也 小倉 一心	大高 45.60 中井 崇博 安部 皓太 板垣 慶大 井上 樹	田原 45.66 杉山 航基 柴田 大地 一瀬 司 岩永 豪
走高跳	杉崎 智哉 1.85 ◎鶴城	堀井 健史 1.85 ◎猪高	寺田 文浩 1.79 高師台
棒高跳	増田 智也 4.10 ◎大和	立松 昂也 3.70 大治	榊原 圭悟 3.70 成岩
走幅跳	藏田 源貴 7.03GR ◎愛教大名古屋	中野 裕仁 6.64 ◎武豊	河内 ダニエル 6.56 ◎安祥
砲丸投 (5.000kg)	河相光太郎 13.12 ◎高蔵寺	鈴木健太郎 12.33 大高	渡辺太陽 11.83 味美
四種競技	大上 由宇 2448 依佐美	太田 昌吾 2185 西尾一色	齊藤 大暉 2162 六ツ美北

女子 (GR:大会新記録 ◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m A決勝	新庄 理子 13.34 豊橋東部	谷口 琴音 13.56 甲山	竹川 綾乃 13.59 青陵
1年100m B決勝	野原めぐみ 13.72 菊井	前田 楓 13.76 東浦西部	鏡味 咲耶 13.84 知多東部
2年100m A決勝	高須 鮎香 12.59 城北	永井絵理香 12.93 甲山	三輪 未来 12.96 神の倉

2年100m B決勝	田中 海来 13.16 甲山	鹿嶋菜々子 13.31 名塚	石川 留菜 13.44 篠目
3年100m A決勝	生田奈緒子 12.57 本郷	天神 綾音 12.95 尾張旭西	小祿 由衣 12.96 甲山
3年100m B決勝	岩越 麻弥 12.82 富士	杉浦 李菜 12.84 小坂井	井貝 沙彩 12.86 祖父江
200m A決勝	生田奈緒子 26.19 本郷	三輪 未来 26.44 神の倉	永井絵理香 26.95 甲山
200m B決勝	田中 海来 27.12 甲山	齋 安梨 27.39 富士	安江 紀乃 27.53 二川
800m	相場 里咲 2.15.65 ◎豊橋南陵	市原 和佳 2.16.02 ◎旭南	細井 衿菜 2.17.78 矢作
1500m	市原 和佳 4.32.71 ◎旭南	細井 衿菜 4.35.84 ◎矢作	藤中 佑美 4.36.56 ◎猿投台
100mH (0.762m) A決勝	駒木 遥 14.91 富士	山本 遼 15.22 竜南	鈴木 綾奈 15.52 小坂井
100mH (0.762m) B決勝	森本 みく 15.64 二川	秋尾 佳恵 15.65 尾張旭西	齋藤あおば 15.78 城山
4×100mR	甲山 49.55 山口 実桜 永井絵理香 田中 海来 小祿 由衣	富士 49.71 磯野 涼葉 駒木 遥 岩越 麻弥 齋 安梨	長良 49.99 村松 萌 小泉 満菜 藤浪 沙耶 宇佐 美遼
走高跳	小笠原早矢楓 1.71GR ◎鶴城	倉田 実咲 1.60 ◎尾張旭東	仲井 瑞紀 1.60 ◎伊勢山
棒高跳 (オープン)	黒川真起子 2.60 萩山	小原 悠 加藤 萌々	守山 2.20 宮田
走幅跳	富塚日南々 5.43 ◎常滑	伊串 彩夢 5.40 ◎守山西	神取 空那 5.36 鶴城
砲丸投 (2.721kg)	大島 静流 12.24 富士	蜂須賀理恵 11.83 六ツ美	高井 萌香 11.67 若津
四種競技	佐藤 優希 2629GR ◎守山西	塩崎 泉 2602 ◎藤森	明上 桐子 2587 牧の池

第69回愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会
 2015年7月28日(火)～29日(水) 瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR:大会新記録 ◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m	深瀬 京佑 12.01 岡崎東海	澤 孝輔 12.03 松平	馬場 哲平 12.26 田原東部
2年100m	小倉 一心 11.13 ◎GR 豊橋南陽	藤井 裕也 11.49 豊橋南陽	柁木 達也 11.52 日進西
3年100m	伊藤 彰海 11.18 ◎阿久比	戸田 健太 11.31 安城北	西出 航大 11.33 東港
200m	服部 匡恭 22.24 ◎富士	北村 祐人 22.87 成岩	中島 亨 22.91 篠目
400m	伊奈 颯太 51.35 ◎二川	中谷 竜麻 51.40 ◎高師台	前田 龍利 51.91 東港
800m	中倉 啓敦 2.00.25 ◎神の倉	花井 秀輔 2.04.52 吉田方	天野 晴哉 2.05.15 若津
1年1500m	柏木 那央 4.29.04 一宮中部	桂川 直人 4.29.61 葉栗	後藤 謙昌 4.29.62 翔南
2年1500m	馬場勇一郎 4.06.78 ◎GR 上郷	服部 凱杏 4.07.24 ◎GR 千種	前田 陸 4.07.55 ◎GR 逢妻
3年1500m	鳥居 風樹 4.07.70 ◎末野原	金澤 稜己 4.09.25 豊川西部	野田 俊也 4.14.11 沓掛
3000m	大上 颯麻 9.03.31 猿投台	伊藤 伶真 9.04.72 甲山	葛西 潤 9.04.97 東港
110mH (0.914m)	吉田 潤平 14.39 ◎GR 滝	桶田 大晟 14.89 ◎汐路	蔭山 竜介 14.89 ◎古知野

4×100mR	豊橋南陽 44.04 丸山 直人 村田 響 藤井 裕也 小倉 一心	御幸山 44.35 伊藤 涼真 小笠原海貴 針生 祥平 服部 奨	田原 44.69 杉山 航基 柴田 大地 一瀬 司 岩永 豪
低学年 4×100mR	守山西 47.11 伊藤 真優 久岡 慧 長谷川敦哉 織田 祥輝	田原東部 47.43 山田 楓真 馬場 哲平 和田 初温 渡辺 泰成	大口 47.50 中村 朗 大島 匠 尾張 龍希 近藤 生啓
走高跳	杉崎 智哉 1.82 鶴城	堀井 健史 1.82 猪高	木田 大晴 1.79 竜南
棒高跳	大崎 寛 4.00 ◎大治	増田 智也 4.00 ◎大和	立松 昂也 3.80 大治
走幅跳	藏田 源貴 6.99GR ◎愛教大名古屋	古池 秀太 6.51 ◎古知野	中野 裕仁 6.46 武豊
砲丸投 (5.000kg)	河相光太郎 13.22 ◎高蔵寺	鈴木健太郎 13.01 ◎大高	高橋 慎吾 12.18 犬山南部
四種競技 (オープン)	大上 由宇 2560 ◎GR 依佐美	石田 拓真 2212 守山東	太田 昌吾 2201 西尾一色

女子(PR: 県新記録 GR: 大会新記録 ◎: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	新庄 理子 12.90 豊橋東部	竹川 綾乃 13.06 青陵	谷口 琴音 13.10 甲山
2年 100m	高須 鮎香 12.51 ◎城北	齋 安梨 12.75 富士	大城 珠莉 12.77 弥富
3年 100m	都築 美音 12.43 ◎東浦	天神 綾音 12.55 尾張旭西	駒木 遥 12.56 富士
200m	生田奈緒子 25.48 ◎本郷	三輪 未来 26.11 神の倉	村田 綾香 26.27 青陵
800m	細井 衿菜 2.14.23 ◎矢作	相場 里咲 2.14.96 ◎豊橋南稜	兼原 遥花 2.19.34 甲山
1年 800m	川島 実桜 2.20.23 高師台	小石川花梨 2.20.60 豊橋東部	小島向日希 2.24.19 千秋
1500m	市原 和佳 4.31.49 ◎旭南	藤中 佑美 4.36.49 ◎猿投台	中野 紗希 4.36.67 ◎山田
100mH (0.762m/8m)	山本 遼 14.56 ◎竜南	鈴木 綾奈 15.08 小坂井	加藤 紗希 15.11 西尾一色
4×100mR	富士 49.07 磯野 涼葉 駒木 遥 岩越 麻弥 齋 安梨	甲山 49.28 山口 実桜 永井絵理香 田中 海来 小椋 由衣	城北 50.69 石田 果蓮 三浦のぞみ 沼沢 初来 高須 鮎香
低学年 4×100mR	守山東 52.68 細田 蒼葉 鈴木みなみ 夫馬小百合 岡田 笑子	岩津 52.85 小船妃那子 九里 沙耶 馬場真由花 高橋 流惟	高師台 52.91 林 夢彩 中西なつ美 尾崎 留菜 河合瑠未果
走高跳	小笠原早矢楓 1.65 ◎鶴城	倉田 実咲 1.57 尾張旭東	杉下もあな 1.57 北陵
走幅跳	富塚日南々 5.42 常滑	神取 空那 5.40 ◎鶴城	都築 陽奈 5.29 保見
砲丸投 (2.721kg)	高井 萌香 11.71 岩津	中安海南子 11.68 長良	大久保春香 11.68 矢作
四種競技 (オープン)	明上 桐子 2713 ◎GR 牧の池	塩崎 泉 2556 藤森	木村 加乃 2387 鷹米

学校対抗総合順位

	1位	2位	3位
男子	豊橋南陽	田原東部	東港
女子	甲山	富士	豊橋東部

平成27年度全国高等学校総合体育大会
秩父宮賜杯第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
2015年7月29日(水)～8月2日(日) 紀三井寺公園陸上競技場

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
5000m	8	14.13.97	長谷川 令	豊川
5000mW	6	21.43.63	持田 颯人	千種
4×100mR	3	40.40	稲垣 晃隆	名古屋
			青木 滋音	
			伊里 洋海	
走高跳	7	4.90	小木曾 光	中京大中京

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	2	11.89	柴山沙也香	至学館
	6	11.98	中野 真琴	安城学園
400m	5	55.68	松本 扶弥	岡崎城西
	8	55.97	吉田 紗弓	愛知
800m	1	2.06.29	向井 智香	至学館
	4	2.07.32	時久 彩音	至学館
1500m	1	4.16.76	向井 智香	至学館
400mH	7	1.00.40	岩田帆乃夏	中京大中京
5000mW	5	24.17.08	岩田 奈央	千種
4×100mR	6	46.65	清水 麻央	愛知
			一ノ瀬安葉	
			高間 汐美	
			吉田 紗弓	
4×100mR	7	46.89	磯部 まみ	至学館
			釜田 留奈	
			柴山亜沙美	
			柴山沙也香	
4×400mR	4	3.44.61	時久 彩音	至学館
			柴山沙也香	
			柴山亜沙美	
			向井 智香	
4×400mR	7	3.48.37	沢井 萌奈	中京大中京
			山中今日香	
			長屋 美月	
			岩田帆乃夏	
走高跳	2	1.75	浅井さくら	岡崎城西
	3	1.75	中西 美早	岡崎城西
	4	1.72	兼川 乃衣	岡崎城西
	7	1.69	榎原至佳子	瑞陵
走幅跳	4	5.86	澤井 萌奈	中京大中京

第37回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
2015年8月10日(月) 三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子

(=GR: 県タイ記録)

種目	順位	記録	選手名	学校名
2年100m	2	11.35	小倉 一心	豊橋南陽

3年 100m	2	11.54	戸田 健太	安城北
200m	1	22.52	服部 匡恭	富士
400m	1	50.68	中谷 竜麻	高師台
	2	51.12	伊奈 颯太	二川
800m	2	1.59.17	中倉 啓敦	神の倉
	3	2.00.65	天野 晴哉	岩津
1年 1500m	3	4.25.54	深津希瑠亜	末野原
			後藤 謙昌	翔南
2年 1500m	1	4.07.95	馬場勇一郎	上郷
	2	4.09.14	服部 凱杏	千種
	3	4.13.51	前田 陸	逢妻
3年 1500m	1	4.07.00	鳥居 風樹	末野原
	3	4.10.38	金澤 稜己	豊川西部
3000m	1	8.57.29	大上 颯麻	猿投台
	2	8.58.92	伊藤 伶真	甲山
110mH	2	14.50	吉田 潤平	滝
低学年 4×100mR	1	47.35	伊藤 真優	守山西
			久岡 慧	
			長谷川敦哉	
			織田 祥輝	
低学年 4×100mR	2	47.47	近藤 生啓	大口
			大島 匠	
			尾張 龍希	
			中村 朗	
低学年 4×100mR	3	47.68	佐藤 祐貴	青陵
			小嶋 暁	
			加藤 大樹	
			内山 海星	
走高跳	3	1.83	堀井 健史	猪高
棒高跳	3	4.10	増田 智也	大和
走幅跳	1	6.93 =GR	藏田 源貴	愛教大名古屋
	3	6.48	中野 裕仁	武豊
砲丸投(5.0kg)	2	13.05	河相光太郎	高蔵寺
	3	12.95	鈴木健太郎	大高

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
1年 100m	3	13.17	新庄 理子	豊橋東部
2年 100m	2	12.52	高須 鮎香	城北
200m	2	25.98	生田奈緒子	本郷
1年 800m	1	2.20.78	小石川花梨	豊橋東部
	2	2.21.24	川島 実桜	高師台
800m	1	2.12.94	細井 衿菜	矢作
	2	2.14.57	相場 里咲	豊橋南稜
1500m	1	4.34.65	市原 和佳	旭南
低学年 4×100mR	3	52.33	細田 蒼葉	守山東
			鈴木みなみ	
			夫馬小百合	
			岡田 笑子	
4×100mR	2	49.21	山口 実桜	甲山
			永井絵理香	
			田中 海来	
			小祿 由衣	

第50回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
2015年8月13日(木)～15日(土) 駒沢オリンピック公園陸上競技場

男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	6	川口 蓮斗	古知野	2.09.45
400mH	2	杉山 尚規	豊橋・昼	59.26
	3	山田 將太	科技刈谷	59.67
4×100mR	3	杉下、清水、杉山、上田(選抜)		44.87
4×400mR	3	山田、杉山、松岡、坂元(選抜)		3.35.65
走高跳	1	濱崎 優祐	科技刈谷	1.89
	3	清水 拓海	豊橋・昼	1.83
走幅跳	1	杉下 慶	科技刈谷	6.29
三段跳	5	光武 悠吾	大府	12.15
円盤投	2	関 洋晃	愛知工	34.37
	3	杉山 涼	起工	32.69

女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	7	春田玲穂奈	一宮	14.48
400m	1	松屋 空	科技刈谷	1.05.48
	7	伊東 愛莉	科技刈谷	1.11.06
800m	6	高須 優芽	科技刈谷	2.45.43
	7	笠 くるみ	半田商	2.46.87
100mH	2	山口 浩美	豊橋・昼	18.08
4×100mR	1	脇田、山口、松屋、春田(選抜)		54.12
走高跳	2	山口 浩美	豊橋・昼	1.57
走幅跳	3	松屋 空	科技刈谷	4.57
砲丸投	4	永津珠絵吏	明和	8.08
	5	中島 実里	津島	7.93
	8	日高 麻美	刈谷東・昼	7.23
円盤投	5	永津珠絵吏	明和	22.37

男女総合：優勝 130点 (15年ぶり 20回目の優勝)

男子総合：3位 69点

男子トラックの部：4位 28点

男子フィールドの部：優勝 41点

女子総合：優勝 61点 (2年連続 16回目の優勝)

女子トラックの部：2位 34点

女子フィールドの部：2位 27点

第42回全日本中学校陸上競技選手権大会
2015年8月21日(金) 札幌市厚別公園陸上競技場

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
200m	5	22.09	服部 匡恭	富士
400m	6	50.48	中谷 竜麻	高師台
	8	51.08	定盛 匡哉	豊川中部
800m	1	1.54.57	鳥居 風樹	末野原
	4	1.57.26	中倉 啓敦	神の倉
	8	2.00.42	服部 凱杏	千種

1500m	7	4.03.68	馬場勇一郎	上郷
3000m	1	8.33.12	大上 颯麻	猿投台
110mH	5	14.42	吉田 潤平	滝
走幅跳	1	7.00	藏田 源貴	愛教大名古屋
	8	6.52	中野 裕仁	武豊

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
800m	5	2.14.02	細井 衿菜	矢作
走高跳	4	1.66	小笠原早矢楓	鶴城

第36回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会
 2015年9月13日(日) 瑞穂公園北陸上競技場

(クラス：A…中学3年 B…中学2年 C…中学1年 ◎：大会新記録)

	種目	1位	2位	3位
男子A	100m	西出 航大 11.23 東港	伊藤 彰海 11.28 阿久比	戸田 健太 11.33 安城北
	200m	服部 匡恭 22.01 ◎ 富士	中谷 竜麻 22.82 高師台	森 皓平 22.87 名古屋南陽
	3000m	葛西 潤 8.53.46 東港	大上 颯麻 8.53.73 猿投台	伊藤 伶真 8.57.42 甲山
	110mH (0.991m)	吉田 潤平 15.10 ◎ 滝	桶田 大晟 15.22 汐路	蔭山 竜介 15.68 古知野
	走高跳	細川 大地 1.85 田原	森 康太 1.85 古知野	堀井 健史 1.85 TSM
	砲丸投 (5.000kg)	鈴木健太郎 13.39 大高	河相光太郎 12.90 高蔵寺	春日井貴裕 11.62 守山西
男子B	100m	小倉 一心 11.28 豊橋南陽	藤井 裕也 11.43 豊橋南陽	榎木 達也 11.51 日進西
	1500m	馬場勇一郎 4.10.01 上郷	服部 凱杏 4.10.28 千種	柴田 翔太 4.12.39 田原
	110mH (0.914m)	加藤瑠乃祐 15.65 TSM	辻 日向 16.01 竜海	杉山 豪哉 16.17 牟呂
	走幅跳	増田 和紀 6.07 篠目	濱崎 諒也 6.04 豊岡	神谷 翔太 6.00 長良
	砲丸投 (4.000kg)	渡邊 朗生 13.10 守山西	渡邊 太陽 12.93 味美	石田 拓真 12.35 守山東
男子C	100m	澤 孝輔 11.94 ハイテク AC	深瀬 京佑 11.96 岡崎東海	久岡 慧 12.23 守山西
	1500m	柏木 那央 4.26.34 愛知陸協	長谷川昂輝 4.27.26 愛知陸協	中野 倫希 4.28.83 なごや陸上クラブ
	走幅跳	浅井 夏輝 6.04 ◎ 河合	水野 匠 5.65 TSM	西山 雄吾 5.23 TSM
男子ABC共通	円盤投 (1.500kg)	光岡 奨平 37.16 逢妻	伊藤 蒼真 32.24 TSM	安井 慶太 31.61 名古屋
	ジャベリック スロー	藤井 瑞樹 60.88 愛知陸協	廣木 泰成 57.72 刈谷朝日	高木 昂 56.43 有松
女子A	100m	都築 美音 12.71 東浦	小塚 由衣 12.73 甲山	岩越 麻弥 12.78 富士
	200m	生田奈緒子 25.93 本郷	佐々木希ら里 26.32 高橋	榎原 萌 26.88 末野原
	3000m	市原 和佳 9.47.04 ◎ 旭南	藤中 佑美 9.59.76 猿投台	國立 華蓮 10.03.34 愛知陸協
	100mYH (0.762m)	山本 遼 14.99 竜南	駒木 遙 15.33 富士	久保寺桃花 15.72 大府
	走高跳	小笠原早矢楓 1.63 鶴城	塩澤日菜子 1.60 大府	杉下もあな 1.54 北陵
	砲丸投 (4.000kg)	佐藤 優希 9.70 守山西	瀧本 玲那 9.38 高蔵寺	大島 静流 9.37 富士

女子B	100m	高須 鮎香 12.41 ◎ 城北	永井絵里香 12.64 甲山	齋 安梨 12.68 富士
	1500m	堀 綾花 4.49.16 祖父江	松原 亜純 4.49.83 とよま AC	藤原あい佳 4.50.61 古知野
	100mH (0.762m)	西川 知沙 15.21 二川	森本 みく 15.24 二川	金井 智穂 15.31 長良
	走幅跳	伊申 彩夢 5.30 守山西	木村 莉子 4.98 宝神	村田 侑菜 4.93 石巻
	砲丸投 (2.721kg)	平岩 志萌 12.16 守山	清水菜々子 11.10 長良	木下 七海 10.88 高蔵寺
女子C	100m	新庄 理子 12.84 豊橋東部	谷口 琴音 12.95 甲山	大井 サラ 13.19 TSM
	800m	川島 実桜 2.22.91 高師台	小石川花梨 2.23.91 豊橋東部	森 乙葉 2.24.03 梅坪台
	走幅跳	伊藤 凜乃 5.22 TSM	三矢 遙菜 5.02 西尾一色	吉村 真星 4.72 東浦
女子ABC共通	円盤投 (1.000kg)	小川実喜希 27.67 愛知陸協	高井 萌香 26.63 岩津	高木 希望 26.03 知立南
	ジャベリック スロー	高田 爽矢 49.16 成岩	田中 友梨 45.12 藤森	石垣 綾香 43.83 河和

第70回国民体育大会
 2015年10月2日(金)～6日(火) 紀三井寺公園陸上競技場

成年男子 (入賞と自己新記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	2	長田 拓也	法政大	10.33
走幅跳	20	水谷 來	中京大	2.06
棒高跳	2	山本 聖途	トヨタ自動車	5.60
走幅跳	17	木村 友紀	春日井中部中(教)	7.33

成年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	7	市川 華菜	ミズノ	11.88
1500m	7	福田 有以	豊田自動織機	4.25.15
5000m	11	福田 有以	豊田自動織機	16.24.83
10000mW	12	前川 知美	三菱自動車岡崎	48.43.76
走高跳	8	中西 美早	岡崎城西高	1.72

少年男子

	種目	順位	氏名	所属	記録
A	100m	準決6	小川 太郎	名古屋高	10.79
	5000m	30	三輪 軌道	愛知高	14.53.03
	400mH	予5	政岡 薫	中京大中京高	55.10
	棒高跳	—	小木曾 光	中京大中京高	—
B	ハンマー投	4	岩田 知大	一宮北高	59.11 自己新
	100m	準決7	遠藤 慶人	至学館高	11.10
共通	走幅跳	4	藏田 源貴	愛教大名古屋中	6.97
	5000mW	8	持田 颯人	千種高	20.35.08 県高新
	走高跳	18	鈴木 雅貴	鶴城丘高	1.97
	三段跳	22	加藤 準也	豊川高	14.06
	円盤投	8	岩田 知大	一宮北高	45.78

少年女子

	種目	順位	氏名	所属	記録
A	100m	3	柴山沙也香	至学館高	11.83

A	400m	4	松本 扶弥	岡崎城西高	55.79
	400mH	8	岩田帆乃夏	中京大中京高	1.01.09
	3000m	19	向井 智香	至学館高	9.37.52
	走幅跳	31	明星 光	豊田高	4.73
	ハンマー投	13	鈴木裕可里	一宮北高	43.77
B	100m	5	長谷川愛樹	中京大中京高	12.26 準決自己新 (12.11)
	100mYH	準決5	澤井 萌奈	中京大中京高	12.11 自己新
	走幅跳	1	澤井 萌奈	中京大中京高	5.93
共通	800m	1	向井 智香	至学館高	2.07.33
	やり投	9	石本 瞳	名古屋大谷高	45.98

成少年男子

種目	順位	氏名	記録
4×100mR	9	長田 拓也、西垣 佳哉、 小川 太郎、遠藤 慶人	40.55

成少年女子

種目	順位	氏名	記録
4×100mR	6	市川 華菜、柴山沙也香、 中野 真琴、長谷川愛樹	45.96

男女総合(天皇杯): 11位(76点)

女子総合(皇后杯): 7位(50点)

平成27年度愛知県高等学校校定時制通信制秋季体育大会
2015年10月11日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子 (GR: 大会新記録)(1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	杉山 尚槻	豊橋昼	11.2 GR
200m	清水 雄斗	科技刈谷	25.0
400m	松岡 椋太	科技刈谷	52.5
800m	坂元裕二郎	科技刈谷	2.09.2
1500m	渡邊 智	科技刈谷	4.43.1
5000m	宮田 陸杜	岡崎工	17.49.4
400mH	杉山 尚槻	豊橋昼	1.01.2
3000mSC	坂元裕二郎	科技刈谷	11.56.6
4×100mR	稲垣・濱崎・吉本・杉下(科技刈谷)		46.7
4×400mR	小幡・山下・相川・松岡(科技刈谷)		3.57.4
走高跳	濱崎 優祐	科技刈谷	1.95 GR
走幅跳	杉下 慶	科技刈谷	6.10
三段跳	杉下 慶	科技刈谷	12.17
砲丸投	岡枝アラン	名南工	10.32
円盤投	杉山 涼	起工	33.70 GR
総合	科技刈谷		126点

女子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	春田玲穂奈	一宮	13.9
200m	ハイムンドチエミ	小牧	30.1
400m	松屋 空	科技刈谷	1.07.8
800m	高須 優芽	科技刈谷	2.45.5

3000m	孕石 歩美	科技刈谷	13.56.4
100mH	山口 浩美	豊橋昼	17.5
4×100mR	松屋・高須・孕石・伊東(科技刈谷)		58.4
走高跳	山口 浩美	豊橋昼	1.58 GR
走幅跳	松屋 空	科技刈谷	4.44
砲丸投	永津珠絵吏	明和	8.05
円盤投	中島 実里	津島	24.66
総合	豊橋・昼		43点

第31回日本ジュニア陸上競技選手権大会
第9回日本ユース陸上競技選手権大会
2015年10月16日(金)~18日(日)3日間
名古屋市瑞穂公園陸上競技場 本県8位入賞のみ

男子ジュニア

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	4	渡会 元貴	同志社大	10.68
200m	8	渡会 元貴	同志社大	21.58
走高跳	6	水谷 来	中京大	2.14
	8	後藤 昂	豊田工業高専	2.11
棒高跳	8	石川 拓磨	岡崎城西高	4.90
ハンマー投	4	古旗 崇裕	中京大	63.41

女子ジュニア

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	5	中野 真琴	安城学園高	11.91
200m	3	柴山沙也香	至学館高	24.10
400m	3	松本 扶弥	岡崎城西高	54.93
800m	2	向井 智香	至学館高	2.09.05
100mH	1	小林紗夕香	愛知教育大	13.68
400mH	6	岩田帆乃夏	中京大中京高	1.01.25
走高跳	5	中西 美早	岡崎城西高	1.70
	8	杉浦 澄美	筑波大	1.65
走幅跳	8	明星 光	豊田高	5.77
やり投	3	森 風紗	慶應義塾大	51.46

男子ユース

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	7	古田 真也	大府高	48.32
	8	吉津 拓歩	豊橋南高	48.53
400mH	5	堀 健人	明和高	53.43
走高跳	6	杉本 康拓	安城学園高	1.95
		久保 快斗	岡崎高	
		藤森 俊秀	岡崎北高	
棒高跳	4	松永 乃樹	中京大中京高	4.70
砲丸投	2	白藤 聖陽	安城学園高	16.46
ハンマー投	4	岩田 朋也	一宮北高	57.30

女子ユース (=GR: 大会タイ記録)

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	2	時久 彩音	至学館高	2.09.20
	5	大原 芽依	岡崎城西高	2.11.11
	6	長屋 美月	中京大中京高	2.11.15

100mH	5	古橋 佳奈	安城学園高	14.15
4×100mR	5	柴崎 五月 澤井 萌奈 鈴木 朱音 長谷川 愛樹	中京大中京高	46.99
走高跳	1	浅井さくら	岡崎城西高	1.76 =GR
	5	榊原至佳子	瑞陵高	1.70
走幅跳	4	澤井 萌奈	中京大中京高	5.86
ハンマー投	4	金子 明奈	安城学園高	45.49
やり投	3	石本 瞳	名古屋大谷高	48.27

総合	中京大中京 38	岡崎城西 38	名古屋 31
トラック	中京大中京 27	名古屋 23	岡崎城西 21
フィールド	安城学園 17	岡崎城西 17	豊川 15

女子 (GR: 大会記録 =GR: 大会タイ記録 TH: 着差あり)

種目	1位	2位	3位
100m	東 直美 12.12 豊橋南	釜田 留奈 12.37 至学館	山本 里菜 12.37*TH 岡崎城西
200m	東 直美 24.88 豊橋南	清水 麻央 25.18 愛知	柴山亜沙美 25.26 至学館
400m	時久 彩音 55.78 GR 至学館	柴山亜沙美 56.17 至学館	長屋 美月 56.81 中京大中京
800m	時久 彩音 2.10.39 GR 至学館	長屋 美月 2.10.88 GR 中京大中京	宇野 佑紀 2.12.57 安城学園
1500m	西川 優衣 4.28.69 時習館	宇野 佑紀 4.31.33 安城学園	近藤 望未 4.33.98 中京大中京
3000m	西川 優衣 9.36.33 時習館	鈴木 純菜 9.37.02 光ヶ丘女子	富田明日香 9.57.08 光ヶ丘女子
100mH (0.840m)	古橋 佳奈 14.23 安城学園	江頭 亜美 14.67 安城学園	蛭川 真由 14.85 阿久比
400mH (0.762m)	江頭 亜美 1.04.75 安城学園	高間 汐美 1.04.75*TH 愛知	鈴木 彩加 1.05.36 名城大附
5000mW	岩田 奈央 24.06.52 GR 千種	西口 菜帆 26.19.58 一宮	水谷 玲那 26.37.05 一宮
4×100mR	至学館 47.40	愛知 47.71	安城学園 47.92
	菱山 静紅 釜田 留奈 柴山亜沙美 森田 祐美	高間 汐美 清水 麻央 森 穂乃果 杉浦 奈央	江頭 亜美 古賀 珠那 掛川 葉 古橋 佳奈
4×400mR	至学館 3.49.50 GR	愛知 3.52.09 GR	岡崎城西 3.52.92
	釜田 留奈 時久 彩音 井上 葉南 柴山亜沙美	前田 佳歩 清水 麻央 高間 汐美 杉浦 奈央	沖田 梨珠 片山 葉里 大原 芽依 佐藤 琴美
走高跳	浅井さくら 1.70 岡崎城西	榊原至佳子 1.70 瑞陵	菰田梨香子 1.64 安城学園
棒高跳	高田 彩佳 3.40 =GR 岡崎城西	中山 紗良 3.00 岡崎城西	水上 真里 2.90 岡崎城西
走幅跳	河井かのこ 5.53 一宮	吉村 月乃 5.45 岡崎城西	佐野 綾音 5.37 安城学園
三段跳	浅井さくら 11.49 GR 岡崎城西	佐野 綾音 11.05 安城学園	加藤 綾菜 11.02 椋山女学園
砲丸投 (4.0kg)	榊原 梨子 11.62 名古屋大谷	丹嵩あやめ 11.56 名城大附	山浦あみか 11.34 安城学園
円盤投 (1.0kg)	小原 桃華 36.80 名古屋大谷	川口 紅音 36.34 津島	平野 優花 34.45 愛知黎明
ハンマー投 (4.0kg)	金子 明奈 44.93 GR 安城学園	原 加奈子 42.58 GR 起工	平野 葉菜 37.00 安城学園
やり投 (600g)	山本 樹音 43.67 豊橋南	榊原 梨子 42.57 名古屋大谷	近藤 沙南 42.42 安城学園
総合	安城学園 77	岡崎城西 57	至学館 40.5
トラック	至学館 38	安城学園 38	愛知 29
フィールド	安城学園 39	岡崎城西 34	名古屋大谷 19

平成27年度愛知県高等学校新人対校陸上競技大会
2015年9月26日(土)・27日(日) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	中澤 悠哉 10.91 豊川	和田 瑞輝 11.00 豊川	堀場 廉 11.03 名古屋
200m	古田 真也 21.61 大府	堀場 廉 21.77 名古屋	小島 健晟 22.11 愛工大名電
400m	古田 真也 47.66 GR 大府	吉津 拓歩 48.27 豊橋南	村木 涉真 48.41 千種
800m	伊藤 壮太 1.55.72 中京大中京	宇野 佑亮 1.56.00 岡崎城西	橋本 将弥 1.56.26 一宮興道
1500m	田中 蒼大 4.01.85 時習館	野川 寛太 4.01.87 愛知	二宮 秀 4.02.09 刈谷
5000m	青山 尚大 15.01.73 中京大中京	内山 将志 15.04.02 愛知	石田虎太郎 15.04.18 中京大中京
110mH (1.067m)	八代 貢輝 15.13 名古屋	堀 健人 15.31 明和	山内颯一郎 15.47 千種
400mH (0.914m)	堀 健人 53.92 明和	山内颯一郎 55.27 千種	柴田 有仁 55.77 菊里
3000mSC	竹内 奨真 9.32.25 岡崎城西	梶川 由稀 9.32.29 惟信	石川 大介 9.34.70 岡崎城西
5000mW	榊原 大和 23.02.17 愛産大三河	小林 郁斗 23.06.28 一宮	市川 貴雄 23.16.33 西春
4×100mR	名古屋 41.72	愛工大名電 41.86	岡崎城西 41.86
	山本 涼太 堀場 廉 八代 貢輝 宇佐美隆平	小島 安滋 篠原 宏輔 加藤 拓真 小島 健晟	氏野 貴之 佐野 斗和 鶴田 一志 天野 快聖
4×400mR	中京大中京 3.18.97	千種 3.19.38	名古屋大谷 3.20.00
	杉野 蒼太 水野 駿佑 清水 佑 伊藤 壮太	加藤 大貴 山内颯一郎 足立 洋人 村木 涉真	丸山 拓也 谷川 友希 青木健史郎 林 龍平
走高跳	杉本 康拓 2.03 安城学園	久保 快斗 2.00 岡崎	落合 惇寛 1.97 名古屋西
棒高跳	松永 乃樹 4.40 中京大中京	加藤 綾太 4.30 豊川	井上 啓吾 4.20 豊川
走幅跳	柴田 一瞬 6.85 豊川	山下 凌芽 6.83 渥美農	大久保光祐 6.82 岡崎城西
三段跳	山下 凌芽 14.07 渥美農	津曲 章太 13.80 大府	大久保光祐 13.64 岡崎城西
砲丸投 (6.0kg)	白藤 聖陽 16.03 GR 安城学園	猪上 凌太 13.13 春日井東	岩田 朋也 12.71 一宮北
円盤投 (1.750kg)	北野 雅大 36.53 豊明	筒井 悠斗 35.22 名城大附	齋藤寅次郎 35.07 名古屋
ハンマー投 (6.0kg)	岩田 朋也 54.18 一宮北	牧野 峻大 53.48 名古屋大谷	白藤 聖陽 53.20 安城学園
やり投 (800g)	池田 雄飛 59.26 豊田北	赤塚 亮介 55.98 長久手	星田晃太郎 54.09 愛産大工

第18回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
平成25年10月24日(土)・25日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	中澤 悠哉 10.84 豊川・愛知	中脇 裕也 10.87 鈴鹿高専・三重	菊池昌太郎 10.95 富士宮西・静岡

200m	古田 真也 21.29 大府・愛知	アマゾンゼゼンハ航大 21.58 浜名・静岡	村上 亮人 21.59 浜松南・静岡
400m	古田 真也 47.09GR 大府・愛知	吉津 拓歩 47.89 豊橋南・愛知	村木 涉真 48.39 千種・愛知
800m	伊藤 壮太 1.56.11 中京大中京・愛知	平塚 心 1.57.10 浜松市立・静岡	山田 翔雅 1.57.17 愛知・愛知
1500m	岡田 和太 4.04.66 中京・岐阜	近藤 壮真 4.05.10 葦山・静岡	田中 蒼大 4.05.26 時習館・愛知
5000m	青山 尚大 15.10.68 中京大中京・愛知	石田虎太郎 15.12.90 中京大中京・愛知	野上 亮祐 15.14.97 中京大中京・愛知
110mH (1.067m)	八代 貢輝 14.76 名古屋・愛知	山内颯一郎 15.14 千種・愛知	堀 健人 15.21 明和・愛知
400mH (0.914m)	中村 拳 53.50 清水桜が丘・静岡	堀 健人 54.59 明和・愛知	西田 悠人 55.57 岡崎・愛知
3000mSC	梶川 由稀 9.20.83 惟信・愛知	栗島 和志 9.27.69 浜松工・静岡	大和 陽介 9.35.59 愛知・愛知
5000mW	成岡 大輝 21.16.78GR 伊賀白鳳・三重	坂崎 翔 21.30.60 伊賀白鳳・三重	鈴木 智大 21.45.50 明和・愛知
4×100mR	名古屋・愛知 41.40 山本 涼太 堀場 康 梅谷 将成 宇佐美隆平	愛工大名電・愛知 41.46 小島 安滋 篠原 宏輔 加藤 拓真 小島 健晟	宇治山田商・三重 41.51 阪口 智也 西川 悠真 下司玲央奈 上山 紘輝
4×400mR	中京大中京・愛知 3.19.18 高橋 舞羽 水野 駿佑 清水 佑 伊藤 壮太	名古屋大谷・愛知 3.20.02 家田 英幸 林 龍平 丸山 拓也 青木健史郎	沼津東・静岡 3.20.42 濱道 健 杉山 雅俊 平井 卓実 池内 祐貴
走高跳	藤森 俊秀 1.96 岡崎北・愛知	杉本 康拓 1.93 安城学園・愛知	岡井 大靖 1.93 岡崎城西・愛知
棒高跳	窪田 大輝 4.80 浜松工・静岡	松永 乃樹 4.70 中京大中京・愛知	田畑 龍正 4.60 皇學館・三重
走幅跳	増田 虎介 7.19 東海大翔洋・静岡	宮田 龍樹 7.08 岡崎城西・愛知	山下 凌芽 6.97 渥美農・愛知
三段跳	原 レノン 14.34 美濃加茂・岐阜	津曲 章太 14.24 大府・愛知	千葉 正紀 14.20 清水南・静岡
砲丸投 (6.0kg)	白藤 聖陽 16.26 安城学園・愛知	別所 竜守 14.54 松阪商・三重	西田 隼 14.40 松阪商・三重
円盤投 (1.750kg)	中村 京平 44.18 宇治山田商・三重	鈴木健太郎 40.73 磐田農・静岡	中井 慧悟 40.00 浜松城北工・静岡
ハンマー投 (6.0kg)	岩田 朋也 56.59 一宮北・愛知	中山 海斗 52.51 島田樟誠・静岡	白藤 聖陽 51.97 安城学園・愛知
やり投 (800g)	草野 滂也 61.49 宇治山田商・三重	池田 雄飛 59.74 豊田北・愛知	永谷 雄太 58.63 伊勢工・三重

5000mW	岩田 奈央 24.09.30 千種・愛知	木村 加奈 25.07.48 御殿場南・静岡	大谷菜々子 25.16.05 伊豆中央・静岡
4×100mR	四日市商・三重 47.28 江平 春花 上野 菜雅 柴原有里加 鈴木 塔子	安城学園・愛知 47.39 江頭 亜美 古賀 珠那 掛川 栞 古橋 佳奈	愛知・愛知 47.58 水野あさひ 清水 麻央 高間 汐美 杉浦 奈央
4×400mR	中京大中京・愛知 3.56.85 柴崎 五月 鈴木 朱音 澤井 萌奈 長屋 美月	日大三島・静岡 3.57.54 島山 桃 廣田 菜生 石川 絢那 池谷 真蓬	浜松西・静岡 3.58.77 立石 映 小楠 郷加 内藤 未彩 石原真生子
走高跳	浅井さくら 1.73=GR 岡崎城西・愛知	榊原至佳子 1.70 瑞陵・愛知	菰田梨香子 1.67 安城学園・愛知
棒高跳	出口 瑞歩 3.50 宇治山田商・三重	鈴木麻名実 3.30 佐原 幸奈	磐田農・静岡 磐田農・静岡
走幅跳	川口 美聡 5.60 静岡東・静岡	吉村 月乃 5.55 岡崎城西・愛知	清水 雪花 5.49 大垣東・岐阜
三段跳	大島 佑香 11.56 済美・岐阜	浅井さくら 11.50 岡崎城西・愛知	加藤 綾菜 11.39 椚山女学園・愛知
砲丸投 (4.0kg)	増田 奈緒 12.66 静岡市立・静岡	今西 彩 12.22 浜松市立・静岡	丹嵐あやめ 11.82 名城大附・愛知
円盤投 (1.0kg)	浦田 晏那 40.53 松阪商・三重	藤原 千春 38.15 松阪商・三重	川口 紅音 37.90 津島・愛知
ハンマー投 (4.0kg)	金子 明奈 43.83 安城学園・愛知	原 加奈子 40.43 起工・愛知	袴田愛莉菜 40.08 浜松市立・静岡
やり投 (600g)	榊原 梨子 43.89 名古屋大谷・愛知	山本 樹音 43.14 豊橋南・愛知	渡瀬 なな 41.43 浜松工・静岡

平成 27 年度愛知県高等学校駅伝競走大会
男子第 66 回・女子第 27 回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
 2015年11月1日(日) 知多運動公園陸上競技場~市道北浜金沢線
 (男子: 42.195km・女子: 21.0975km)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川	2.06.29	岡崎学園	1.08.23
2	愛知	2.06.33	豊川	1.09.08
3	豊川工	2.08.32	光ヶ丘女子	1.11.40
4	中京大中京	2.09.36	千種	1.12.35
5	岡崎城西	2.09.56	中京大中京	1.12.59
6	愛知黎明	2.11.19	安城学園	1.14.03

女子 (GR: 大会記録 = GR: 大会タイ記録)

種目	1位	2位	3位
100m	東 直美 12.12 豊橋南・愛知	伊藤 有那 12.16 県岐阜商・岐阜	柴原有里加 12.28 四日市商・三重
200m	伊藤 有那 24.60 県岐阜商・岐阜	東 直美 24.65 豊橋南・愛知	鈴木 塔子 24.70 四日市商・三重
400m	杉浦 奈央 56.04 愛知・愛知	吉田 葵 57.09 浜松大平台・静岡	中谷 桐子 57.65 磐田南・静岡
800m	長屋 美月 2.13.45 中京大中京・愛知	大原 芽依 2.14.22 岡崎城西・愛知	宇野 佑紀 2.15.99 安城学園・愛知
1500m	西川 優衣 4.29.69GR 時習館・愛知	宇野 佑紀 4.36.31 安城学園・愛知	後藤 梨奈 4.37.51 岡崎城西・愛知
3000m	西川 優衣 9.44.45 時習館・愛知	林 里紗 9.51.25 土岐商・岐阜	丸山 智子 10.00.23 富士・静岡
100mH (0.840m)	古橋 佳奈 13.96 安城学園・愛知	園原 晶 14.29 恵那・岐阜	江頭 亜美 14.63 安城学園・愛知
400mH (0.762m)	吉田 佳純 1.02.58 県岐阜商・岐阜	牧野なな子 1.04.05 浜松工・静岡	吉田 葵 1.05.40 浜松大平台・静岡

男子 (*: 区間新)

区間	氏名	学校名	記録
第1区 (10km)	長谷川 令	豊川	*29.27
第2区 (3km)	奥村 拳史	岡崎城西	8.47
第3区 (8.1075km)	ワイドラサイモンワング	豊川	24.14
第4区 (8.0875km)	平松 亮介	豊川工	24.50
第5区 (3km)	平塚 翔太	愛知	8.45
第6区 (5km)	佐藤 敏也	愛知	*14.41
第7区 (5km)	深澤 空良	豊川	*14.52

女子

区間	氏名	学校名	記録
第1区 (6km)	猿見田裕香	豊川	18.42

第2区 (4.0975km)	光部 風沙	岡崎学園	13.20
第3区 (3km)	夏目 蒼衣	岡崎学園	9.54
第4区 (3km)	松井 優実	豊川	9.54
第5区 (5km)	西河原 瑞	岡崎学園	16.22

第29回愛知県小学生陸上競技選手権大会
2015年11月3日(火・祝) 瑞穂公園陸上競技場

少年 (=PR: 県タイ記録 GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	佐々木康太郎 7.75 東浦 AC	井地 晃也 7.78 豊橋陸上クラブ	下城 佐介 7.82 小牧ジュニア
5年100m	石田 大河 13.87 AC一宮	加藤 真浩 12.79 安城ジュニア AC一宮	14.03
6年100m	山下 侑牙 12.51 岡崎 JAC	原田 峻輔 12.79 浄水 AC	濱田 晃成 12.89 TSM
5年80mH	亀山 聡太 13.74 TSM	澤田晃太郎 14.83 成岩 SC 陸上	平井 康太 14.92 安城北部小
6年80mH	中井 康揮 12.14 なごや陸上	加藤 隼輝 12.58 TSM	小幡 岳人 12.66 TSM
6年4×100mR	TSM A 50.63 河登 新太 小幡 岳人 濱田 晃成 桂木 大和	岡崎 JAC 52.58 加藤 快征 原田 和真 伊藤 圭吾 山下 侑牙	安城ジュニア A 52.65 神谷 天舞 山本 悠斗 安藤 優羽 山下 友紀
5年走高跳	川口 遙己 1.40=PR GR JAC 武豊	清水 翔 1.30 なごや陸上	1.20 川島 晴 安城ジュニア 近藤 克 桜町クラブ
6年走高跳	吹原 輝 1.35 TSM	原田 尚輝 1.30 布袋陸上クラブ	1.25 市川 翔太 知立ジュニア 神谷 隆星 安城北部小
4年走幅跳	森部 諒 3.96 JAC 武豊	大坪 一平 3.80 OBU エニスポ	渡邊 陸 3.72 東浦 AC
5年走幅跳	田中 瑛一 4.34 田原陸上クラブ	高橋 寛汰 4.26 JAC あつみ	清田 海人 4.23 JAC あつみ
6年走幅跳	久米 晃史 4.72 JAC 武豊	東 誠太郎 4.56 TSM	小林丈一朗 4.34 豊川 AC
4年ヴォータックス投	山口 凌生 39.74 大須 AC	木村 慶多 39.48 JAC あつみ	後藤 柁 35.05 TSM
5年ヴォータックス投	河合 大地 53.01 JAC あつみ	鳥居 大誠 43.68 作野 AC	坂口創央太 41.19 豊橋陸上クラブ
6年ヴォータックス投	鈴木 康大 54.86 たかはま陸上	出口 慎吾 49.17 TSM	淀川 颯太 48.95 安城北部小
6年二種競技 A	高木 翼 1408 点 JAC あつみ	西 徹朗 1368 TSM	榮 墨唯 1234 豊橋陸上クラブ
6年二種競技 B	中島 海翔 1560 OBU エニスポ	上村耕志郎 1560 豊橋陸上クラブ	山口 晴生 1371 浄水 AC

少女 (PR: 県記録 GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	田島七里香 7.68 TSM	伊藤 千夏 7.83 田原陸上クラブ	羽根田優梨亜 7.85 浄水 AC
5年100m	土居 幸愛 13.35GR 岡崎 JAC	北田野々花 13.55 岡崎 JAC	黒田 茜音 14.03 とよた AC
6年100m	土居 心愛 13.05 岡崎 JAC	松山明里咲 13.50 TSM	澤田 幸奈 13.57 岡崎 JAC
5年80mH	中西百萌佳 13.68PR GR TSM	荒川 由奈 14.82 たかはま陸上	山上 瑞季 14.89 田原陸上クラブ

6年80mH	神田 彩名 12.83 TSM	中西 楓夏 13.45 TSM	新垣 舞桜 13.50 豊川 AC
6年4×100mR	岡崎 JAC 53.18 澤田 幸奈 北田野々花 土居 心愛 藤原古都羽	TSM A 53.64 松本佳音彩 高嵩 桃花 神田 彩名 松山明里咲	豊橋陸上クラブ A 55.93 道川 子音 筒井 玲奈 角谷 知夏 安藤 実希
5年走高跳	二村菜津乃 1.25 TSM	堀 丹音 1.20 豊川 AC	伊藤 圭菜 1.15 TSM
6年走高跳	脇田ライラ 1.40 TSM	杉浦 美海 1.30 TSM	鈴木 双葉 1.30 岡崎 JAC
4年走幅跳	武井 葉夏 4.04 小牧ジュニア	永柳 結都 3.79 JAC 武豊	酒井 菜胡 3.63 刈谷 AC
5年走幅跳	菅沼 瑠璃 4.22 田原陸上クラブ	永井ここね 4.10 作野 AC	清田 朋花 4.06 JAC あつみ
6年走幅跳	高橋 知伽 4.70 豊橋陸上クラブ	山本 紫乃 4.62 TSM	鈴木 麗絵 4.59 なごや陸上
4年ヴォータックス投	木村 優星 29.00 知立ジュニア	鶴崎 珠羽 26.01 TSM	磯崎 悠花 23.24 たかはま陸上
5年ヴォータックス投	中田 瑠乃 37.84 橘 AC	堤 陽菜 37.75 東郷 AC	豊嶋 美結 32.21 辻クラブ
6年ヴォータックス投	蟹江璃彩子 39.82 なごや陸上	中嶋 詩乃 39.43 安城北部小	深谷 みな 37.22 蒲郡クラブ
6年二種競技 A	馬場 梓 1546 安城北部小	岩本 梨沙 1462 YOUKI 陸上	竹市 有那 1415 TSM
6年二種競技 B	高嵩 桃花 1671 TSM	吉川 真央 1539 YOUKI 陸上	道川 子音 1509 豊橋陸上クラブ

男女混合

種目	1位	2位	3位
4年4×100mR	豊橋陸上クラブ B 1.00.84 牛田 麻琴 小酒井結菜 金子 凌空 渡辺 翔大	豊橋陸上クラブ A 1.00.92 菅沼 梨瑚 小原すずか 井地 晃也 山本 琉誠	東浦 AC 1.01.57 藤本梨々華 吉川 姫織 佐々木康太郎 中山二千翔
5年4×100mR	AC一宮 56.26 井貝 華央 杉本 遥 池田 駿大 石田 大河	安城ジュニア A 56.76 藪 泉月 神谷 莉子 杉山 海月 加藤 真浩	田原陸上クラブ A 56.86 田中 愛彩 菅沼 瑠璃 後藤 栄作 三浦 宙

第64回愛知県中学校駅伝大会

平成27年11月14日(土) 半田運動公園陸上競技場
[男子] 距離19.2km(6区間) [女子] 距離13.0km(5区間)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	江南市立古知野	1.02.28	東海市立横須賀	50.24
2	岡崎市立矢作	1.02.37	江南市立古知野	50.58
3	岡崎市立美川	1.02.44	岡崎市立六ツ美北	51.19
4	岡崎市立甲山	1.03.14	岡崎市立矢作	51.25
5	岡崎市立城北	1.03.20	江南市立宮田	51.32
6	田原市立東部	1.03.20	岡崎市立岩津	51.32
7	名古屋市立千種	1.03.24	名古屋市立守山西	51.41
8	西尾市立吉良	1.03.25	稲沢市立祖父江	51.44
9	江南市立宮田	1.03.32	名古屋市立千種	51.48
10	豊田市立逢妻	1.03.43	岡崎市立葵	51.56

区間賞

男子

第1区(3.2km)	葛西 潤	名古屋市立東港	9.53
第2区(3.2km)	服部 凱杏	名古屋市立千種	9.52
第3区(3.2km)	吉居 大和	田原市立東部	10.03
第4区(3.2km)	谷口 賢	豊橋市立青陵	10.14
第5区(3.2km)	三輪 俊太	江南市立古知野	10.17
第6区(3.2km)	大澤 龍平	江南市立古知野	10.19

女子

第1区(3.2km)	野津 里実	江南市立宮田	11.23
第2区(2.2km)	川島 実桜	豊橋市立高師台	8.54
第3区(2.2km)	鈴木 彩賀	田原市立福江	9.09
第4区(2.2km)	高橋 もね	豊田市立高橋	8.51
第5区(3.2km)	水谷 怜愛	東海市立横須賀	11.19

第55回中部・第45回北陸実業団対抗駅伝

2015年11月15日(日)

コース：道の駅伊良湖港～はなとき通り 7区間83.5km

成績(本県のみ)

- 1 トヨタ自動車A 4.06.15
(早川 翼・ヒラム ガディア・窪田 忍・大石港与・井上翔太・田中秀幸・松原健太)
- 2 愛知製鋼 4.11.08 6 中央発條 4.14.37
- 4 トヨタ紡織 4.12.43 7 トーエネック 4.15.15
- 5 愛三工業 4.14.21

※今年度4区で変更あり(第3中継点が小学校統合により名称変更)

区間賞	1区	早川 翼(トヨタ自動車A)	36.39	区間新
	2区	ヤシハッパン(中央発條)	21.35	
	3区	窪田 忍(トヨタ自動車A)	33.10	
	4区	大石港与(トヨタ自動車A)	49.25	
	5区	井上翔太(トヨタ自動車A)	37.44	
	6区	田中秀幸(トヨタ自動車A)	27.12	
	7区	田口裕弥(トヨタ紡織)	40.24	

理事会等会議報告

○8月理事会 27年8月7日(金)18:00 教育会館

1 協議事項

- ①第69回国民体育大会愛知県代表選手団(役員・選手)の選考について
- ②その他

2 報告事項

- ①国体代表選手の強化合宿について
- ②日本ジュニア・ユース選手権大会について
- ③マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2016について
- ④全国高校陸上競技大会の成績について
- ⑤第41回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者
- ⑥日本選手権誘致について
- ⑦各専門委員会報告
- ⑧その他

おくやみ

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名 逝去年月 支部名
森 敏行 27・10 尾張

栄章

おめでとうございます

○叙勲

愛知陸協の稲垣隆司会長(元愛知県副知事)が、この秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章されました。

誠におめでとうございます。



○陸連表彰

平成27年10月2日(金)～6日(火)第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」において、会場の「和歌山県紀三井寺公園陸上競技場(和歌山市)」で表彰式が行なわれました。日本陸上競技連盟より表彰を受けられた方は次の皆様です。心よりお祝い申し上げます。



(秩父宮章) …日本陸連・加盟団体への功労者

榊原 茂(愛知陸協常務理事・競技委員長)

夏目 輝久(東三河陸上競技協会会長)

(高校優秀指導者章) …高校生指導者としての功労者

鈴木 孝則(名古屋高等学校)

(中学優秀指導者章) …中学生指導者としての功労者

伊藤 秀男(扇台中学校)

(水野 隆夫)

編集後記

◇陸協80周年記念誌をようやく刊行した。次の10年につなげたい。◇駅伝・ロードレースのシーズン。新しい記録とさわやかな記憶を残したい。◇マラソンフェスティバルや日本選手権へ向けての取り組みを加速中。◇寄稿に深謝。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 竹前 正直 茶谷 和彦
新見 精三 西垣 完彦 野口 一昭 山下ゆかり
横田小百合